

**【表紙】**

【提出書類】	有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年6月20日
【発行者名】	東京海上アセットマネジメント投信株式会社
【代表者の役職氏名】	取締役社長 大場 昭義
【本店の所在の場所】	東京都千代田区丸の内一丁目3番1号
【事務連絡者氏名】	尾崎 正幸
【電話番号】	03 - 3212 - 8421
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券に係るファンドの名称】	東京海上日本株TOPIXファンド
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券の金額】	上限 1兆円
【縦覧に供する場所】	該当なし

## 第一部【証券情報】

### (1) 【ファンドの名称】

東京海上日本株TOPIXファンド（以下「当ファンド」ということがあります。）

### (2) 【内国投資信託受益証券の形態等】

追加型証券投資信託の受益権です。

当ファンドの受益権は、社債、株式等の振替に関する法律（以下「社振法」といいます。）の規定に基づく投資信託の受益権であり、受益権の帰属は、後述の「(11) 振替機関に関する事項」に記載の振替機関及び当該振替機関の下位の口座管理機関（社振法第2条に規定する「口座管理機関」をいい、振替機関を含め、以下「振替機関等」といいます。）の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります（以下、振替口座簿に記載または記録されることにより定まる受益権を「振替受益権」といいます。）。委託会社である東京海上アセットマネジメント投信株式会社（以下「委託会社」といいます。）は、やむを得ない事情等がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。なお、振替受益権には無記名式や記名式の形態はありません。

当初の1口当たり元本は1円です。

委託会社の依頼により、信用格付業者から提供され、もしくは閲覧に供された信用格付または信用格付業者から提供され、もしくは閲覧に供される予定の信用格付はありません。

### (3) 【発行（売出）価額の総額】

1兆円を上限とします。

### (4) 【発行（売出）価格】

取得申込受付日の基準価額

基準価額は、販売会社または委託会社に問い合わせることにより知ることができます。

委託会社のお問い合わせ先（以下「委託会社サービスデスク」といいます。）

東京海上アセットマネジメント投信 サービスデスク

0120-712-016（土日祝日・年末年始を除く9時～17時）

### (5) 【申込手数料】

申込時の手数料はありません。

### (6) 【申込単位】

申込方法には、収益分配金の受取方法によって、以下の2種類のコースがあります。

分配金受取りコース	分配金を受け取るコースです。
分配金再投資コース	分配金が税引き後、自動的に無手数料で再投資されるコースです。

販売会社やお申込みのコース等によって申込単位は異なります。また、販売会社により取扱うコースが異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

（販売会社との間で定時定額購入サービスに関する契約を締結した場合、当該契約で規定する取得申込単位によるものとします。）

分配金再投資コースにおける収益分配金の再投資に際しては、上記にかかわらず1口単位で取得することができます。

### (7) 【申込期間】

平成23年6月21日から平成24年6月20日まで

上記申込期間中の毎営業日にお申込みを受け付けます。

申込期間は、上記期間満了前に委託会社が有価証券届出書を提出することにより更新されます。

### (8) 【申込取扱場所】

販売会社の本・支店等で取扱います。ただし、一部取扱いを行わない支店等がある場合がありますので、販売会社の最寄りの本・支店等にお問い合わせください。なお、販売会社については、委託会社サービスデスクにお問い合わせください。

### (9) 【払込期日】

取得申込者は、申込金（発行価格に取得申込口数を乗じて得た申込時の支払総額をいいます。）を販売会社所定の期日までに販売会社に支払うものとします。

各取得申込日の発行価額の総額は各追加信託が行われる日に、販売会社から、委託会社の指定する口座を経由して、受託会社である三菱UFJ信託銀行株式会社（以下「受託会社」といいます。）の指定する当ファンドの口座に振込まれます。

### (10) 【払込取扱場所】

申込金は、お申込みの販売会社にお支払いください。

**(11)【振替機関に関する事項】**

当ファンドの受益権の振替機関は下記の通りです。

株式会社証券保管振替機構

**(12)【その他】**

申込の方法

- a. 受益権の取得申込は、販売会社において申込期間中の毎営業日に受け付けます。
- b. 取得申込者は、申込金額相当額の申込金を販売会社に支払うものとします。ただし、当ファンドは上記「(9)払込期日」にしたがい受託会社に払込まれた時点で初めて設定がなされ、取得申込者はその時点から当ファンドの当該設定にかかる受益者となります。申込金には利息を付けません。
- c. 取得申込の受付は、原則として午後3時までの受付分を当日分とし、この受付時間を過ぎてからの申込分は翌営業日の受付分とします。
- d. 上記にかかわらず、証券取引所（ ）における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情が発生し、委託会社が追加設定を制限する措置を取った場合には、販売会社は、受益権の取得申込の受付を中止すること、および既に受け付けた取得申込の受付を取り消すことができます。  
（ ）金融商品取引法第2条第16項に規定する金融商品取引所および金融商品取引法第2条第8項第3号口に規定する外国金融商品市場を「取引所」といい、取引所のうち、有価証券の売買または金融商品取引法第28条第8項第3号もしくは同項第5号の取引を行う市場および当該市場を開設するものを「証券取引所」といいます（以下、本書において同じ。）。
- e. 取得申込者は、販売会社取引口座を開設のうえ、申込を行うものとします。（ただし、既に取引口座をお持ちの場合を除きます。）
- f. 分配金再投資コースの場合には、申込の際、取得申込者と販売会社の間で、自動けいぞく（累積）投資に関する契約を締結する必要があります。  
上記の契約について、別の名称で同様の権利義務関係を規定する契約等が用いられることがあります。この場合、当該別の名称に読替えるものとします（以下同じ。）。
- g. 定時定額購入サービスを選択した取得申込者は、販売会社との間で定時定額購入サービスに関する取り決めを行います。

日本以外の地域における発行

該当ありません。

振替受益権について

当ファンドの受益権は、社振法の規定の適用を受け、上記「(11) 振替機関に関する事項」に記載の振替機関の振替業にかかる業務規程等の規則にしたがって取り扱われるものとします。

ファンドの分配金、償還金、換金代金は、社振法および上記「(11) 振替機関に関する事項」に記載の振替機関の業務規程その他の規則にしたがって支払われます。

## 第二部【ファンド情報】

### 第1【ファンドの状況】

#### 1【ファンドの性格】

##### (1)【ファンドの目的及び基本的性格】

ファンドの目的

当ファンドは、東京証券取引所第一部の上場銘柄全体の値動きをあらゆるTOPIX（東証株価指数）に連動する投資成果を目標とし、同様の運用目標を持つ「TMA日本株TOPIXマザーファンド」（以下「マザーファンド」ということがあります。）受益証券を主要投資対象として運用を行います。

「TMA」とは委託会社である「東京海上アセットマネジメント投信株式会社（TOKIO MARINE ASSET MANAGEMENT CO.,LTD.）」の略称です。

基本的性格

当ファンドは、追加型投信/国内/株式/インデックス型に属します。

当ファンドの商品分類表および属性区分表は、以下の通りです。

商品分類表

単位型投信・追加型投信	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)	補足分類
単位型投信	国内	株式	インデックス型
	海外	債券	
追加型投信	内外	不動産投信	特殊型
		その他資産 ( )	
		資産複合	

属性区分表

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	対象インデックス
株式 一般 大型株 中小型株	年1回	グローバル		
	年2回	日本		
	年4回	北米	ファミリーファンド	日経225
債券 一般 公債 社債 その他債券 クレジット属性 ( )	年6回 (隔月)	欧州		
	年12回 (毎月)	アジア		TOPIX
	日々	中南米		
不動産投信	その他 ( )	アフリカ	ファンド・オブ・ファンズ	その他 ( )
その他資産 (投資信託証券(株式(一般)))		中近東 (中東)		
資産複合 ( ) 資産配分固定型 資産配分変更型		エマージング		

当ファンドが該当する商品分類・属性区分を網掛け表示しています。

投資形態が、ファミリーファンドまたはファンド・オブ・ファンズに該当する場合、投資信託証券を通じて投資することとなりますので、商品分類表と属性区分表の投資対象資産が異なります。

## 商品分類の定義

単位型・追加型	単位型投信	当初、募集された資金が一つの単位として信託され、その後の追加設定は一切行われないファンドをいいます。
	追加型投信	一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ従来の信託財産とともに運用されるファンドをいいます。
投資対象地域	国内	目論見書または投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に国内の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	海外	目論見書または投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に海外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	内外	目論見書または投資信託約款において、国内および海外の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいいます。
投資対象資産	株式	目論見書または投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	債券	目論見書または投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に債券を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	不動産投信（リート）	目論見書または投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	その他資産	目論見書または投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式、債券および不動産投信以外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	資産複合	目論見書または投資信託約款において、株式、債券、不動産投信およびその他資産のうち複数の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいいます。
独立区分	MMF（マネー・マネージメント・ファンド）	社団法人投資信託協会の「MMF等の運営に関する規則」に定められるMMFをいいます。
	MRF（マネー・リザーブ・ファンド）	社団法人投資信託協会の「MMF等の運営に関する規則」に定められるMRFをいいます。
	ETF	投資信託及び投資法人に関する法律施行令（平成12年政令480号）第12条第1号及び第2号に規定する証券投資信託並びに租税特別措置法（昭和32年法律第26号）第9条の4の2に規定する上場証券投資信託をいいます。
補足分類	インデックス型	目論見書または投資信託約款において、各種指数に連動する運用成果を目指す旨の記載があるものをいいます。
	特殊型	目論見書または投資信託約款において、投資者に対して注意を喚起することが必要と思われる特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるものをいいます。

商品分類の定義は、社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」をもとに委託会社が作成しております。

## 属性区分の定義

投資対象資産	株式	一般	次の大型株、中小型株属性にあてはまらない全てのものをいいます。
		大型株	目論見書または投資信託約款において、主として大型株に投資する旨の記載があるものをいいます。
		中小型株	目論見書または投資信託約款において、主として中小型株に投資する旨の記載があるものをいいます。
	債券	一般	次の公債、社債、その他債券属性にあてはまらない全てのものをいいます。

	公債	目論見書または投資信託約款において、日本国または各国の政府の発行する国債（地方債、政府保証債、政府機関債、国際機関債を含みます。以下同じ。）に主として投資する旨の記載があるものをいいます。
	社債	目論見書または投資信託約款において、企業等が発行する社債に主として投資する旨の記載があるものをいいます。
	その他債券	目論見書または投資信託約款において、公債または社債以外の債券に主として投資する旨の記載があるものをいいます。
	格付等クレジットによる属性	目論見書または投資信託約款において、上記債券の「発行体」による区分のほか、特にクレジットに対して明確な記載があるものについては、上記債券に掲げる区分に加え「高格付債」「低格付債」等を併記します。
不動産投信		目論見書または投資信託約款において、主として不動産投信に投資する旨の記載があるものをいいます。
その他資産		目論見書または投資信託約款において、主として株式、債券および不動産投信以外に投資する旨の記載があるものをいいます。
資産複合	資産配分固定型	目論見書または投資信託約款において、複数資産を投資対象とし、組入比率については固定的とする旨の記載があるものをいいます。
	資産配分変更型	目論見書または投資信託約款において、複数資産を投資対象とし、組入比率については、機動的な変更を行う旨の記載があるものもしくは固定的とする旨の記載がないものをいいます。
決算頻度	年1回	目論見書または投資信託約款において、年1回決算する旨の記載があるものをいいます。
	年2回	目論見書または投資信託約款において、年2回決算する旨の記載があるものをいいます。
	年4回	目論見書または投資信託約款において、年4回決算する旨の記載があるものをいいます。
	年6回（隔月）	目論見書または投資信託約款において、年6回決算する旨の記載があるものをいいます。
	年12回（毎月）	目論見書または投資信託約款において、年12回（毎月）決算する旨の記載があるものをいいます。
	日々	目論見書または投資信託約款において、日々決算する旨の記載があるものをいいます。
	その他	上記属性にあてはまらない全てのものをいいます。
投資対象地域	グローバル	目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益が世界の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	日本	目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益が日本の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	北米	目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益が北米地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	欧州	目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益が欧州地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	アジア	目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益が日本を除くアジア地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	オセアニア	目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益がオセアニア地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。

	中南米	目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益が中南米地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	アフリカ	目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益がアフリカ地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	中近東（中東）	目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益が中近東地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	エマージング	目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益がエマージング地域（新興成長国（地域））の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
投資形態	ファミリーファンド	目論見書または投資信託約款において、親投資信託（ファンド・オブ・ファンズにのみ投資されるものを除きます。）を投資対象として投資するものをいいます。
	ファンド・オブ・ファンズ	社団法人投資信託協会の「投資信託等の運用に関する規則」第2条に規定されるファンド・オブ・ファンズをいいます。
為替ヘッジ	あり	目論見書または投資信託約款において、為替のフルヘッジまたは一部の資産に為替のヘッジを行う旨の記載があるものをいいます。
	なし	目論見書または投資信託約款において、為替のヘッジを行わない旨の記載があるものまたは為替のヘッジを行う旨の記載がないものをいいます。
対象インデックス	日経225	目論見書または投資信託約款において、日経225に連動する運用成果を目指す旨の記載があるものをいいます。
	TOPIX	目論見書または投資信託約款において、TOPIXに連動する運用成果を目指す旨の記載があるものをいいます。
	その他	上記指数にあてはまらない全てのものをいいます。
特殊型	ブル・ベア型	目論見書または投資信託約款において、派生商品をヘッジ目的以外に用い、積極的に投資を行うとともに各種指数・資産等への連動若しくは逆連動（一定倍の連動若しくは逆連動を含む。）を目指す旨の記載があるものをいいます。
	条件付運用型	目論見書または投資信託約款において、仕組債への投資またはその他特殊な仕組みを用いることにより、目標とする投資成果（基準価額、償還価額、収益分配金等）や信託終了日等が、明示的な指標等の値により定められる一定の条件によって決定される旨の記載があるものをいいます。
	ロング・ショート型 / 絶対収益追求型	目論見書または投資信託約款において、特定の市場に左右されにくい収益の追求を目指す旨若しくはロング・ショート戦略により収益の追求を目指す旨の記載があるものをいいます。
	その他型	目論見書または投資信託約款において、上記特殊型に掲げる属性のいずれにも該当しない特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるものをいいます。

属性区分の定義は、社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」をもとに委託会社が作成しております。

#### 信託金の限度額

当ファンドの信託金限度額は、信託約款の定めにより1兆円となっています。ただし、受託会社と合意のうえ、変更することができます。

#### ファンドの特色

## 1

**TOPIX（東証株価指数）に連動する投資成果の達成を目標とするインデックスファンドです。**

「TMA日本株TOPIXマザーファンド」受益証券への投資を通じて、主として日本の企業（日本法人）の株式に投資します。

※インデックスファンドとは、主に特定の資産や市場などの全体の動きを表す指数（インデックス）に連動する投資成果を目標とする投資信託（ファンド）をいいます。

**TOPIXについて**

- ・TOPIXの指数値及びTOPIXの商標は、株式会社東京証券取引所（以下「(株)東京証券取引所」という。）の知的財産であり、株価指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXの商標に関するすべての権利は(株)東京証券取引所が有しています。
- ・(株)東京証券取引所は、TOPIXの指数値の算出若しくは公表の方法の変更、TOPIXの指数値の算出若しくは公表の停止又はTOPIXの商標の変更若しくは使用の停止を行うことができます。
- ・(株)東京証券取引所は、TOPIXの指数値及びTOPIXの商標の使用に関して得られる結果並びに特定日のTOPIXの指数値について、何ら保証、言及をするものではありません。
- ・(株)東京証券取引所は、TOPIXの指数値及びそこに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではありません。また、(株)東京証券取引所は、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。
- ・当ファンドは、(株)東京証券取引所により提供、保証又は販売されるものではありません。
- ・(株)東京証券取引所は、当ファンドの購入者又は公衆に対し、当ファンドの説明、投資のアドバイスをする義務を負いません。
- ・(株)東京証券取引所は、委託会社又は当ファンドの購入者のニーズを、TOPIXの指数値を算出する銘柄構成、計算に考慮するものではありません。
- ・以上の項目に限らず、(株)東京証券取引所は当ファンドの設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

## 2

**東証一部上場銘柄を中心に、TOPIXとの連動性を考慮し組入れを行います。**

組入れ銘柄の選択に際しては、流動性その他を考慮し、東証一部銘柄であっても組入れない、あるいは東証一部上場以外の銘柄を組入れることもあります。また、流動性、機動性、コストなどの観点から、株価指数先物取引を行うことがあります。

## 3

**ファミリーファンド方式で運用を行います。**

原則として、マザーファンド受益証券の組入比率は高位に保ちます。ただし、投資環境などによっては弾力的に運用することがあります。



※「ファミリーファンド方式」とは、受益者の投資資金をベビーファンドとしてまとめ、その資金を主としてマザーファンド（親投資信託）に投資することにより、実質的な運用をマザーファンドにて行う方式です。ベビーファンドがマザーファンドに投資するに際しての投資コストはかかりません。また、他のベビーファンドが、マザーファンドへ投資することがあります。

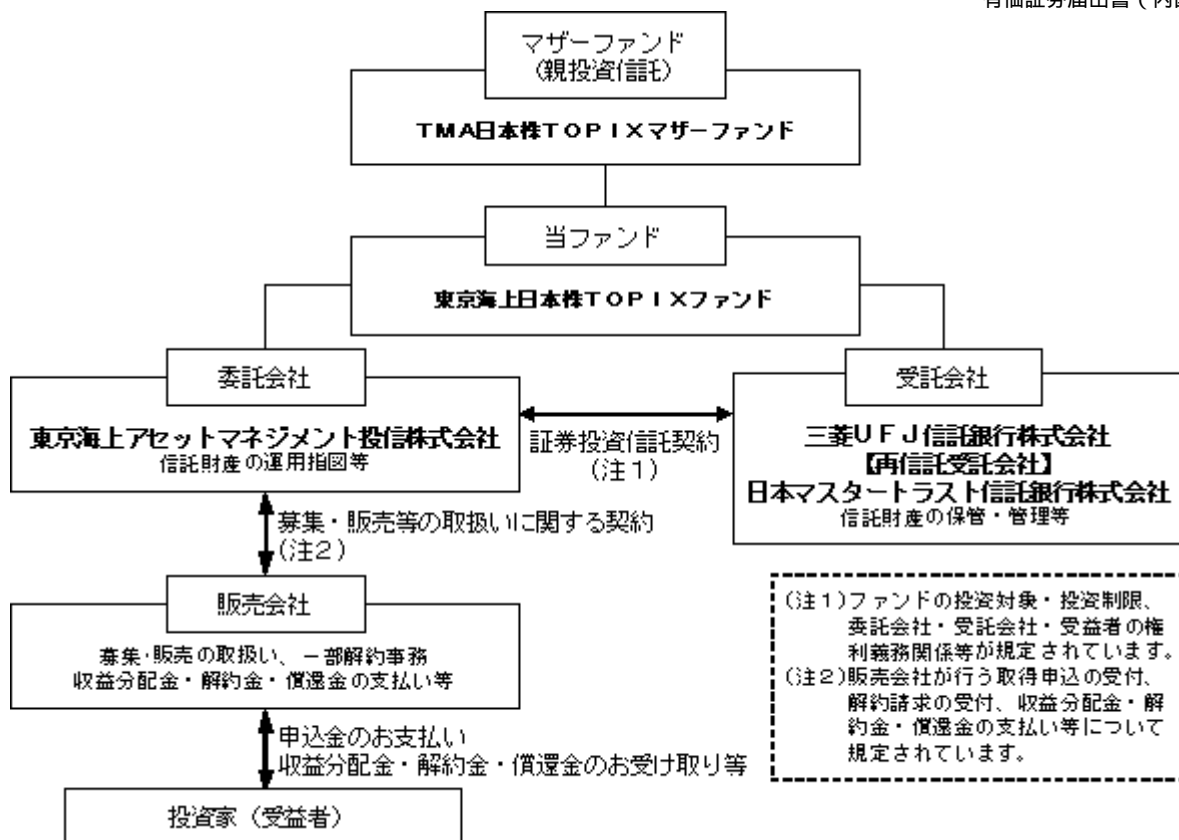
**(2) 【ファンドの沿革】**

平成12年3月21日 ファンドの設定、運用開始

**(3) 【ファンドの仕組み】**

ファンドの仕組み





### 委託会社の概況

- ・名称 東京海上アセットマネジメント投信株式会社
- ・資本金の額 20億円（平成23年4月末日現在）
- ・会社の沿革

昭和60年12月	東京海上グループ（現：東京海上日動グループ）等の出資により、資産運用ビジネスの戦略的位置付けで、東京海上エム・シー投資顧問株式会社の社名にて資本金2億円で設立
昭和62年2月	投資顧問業者として登録
同年6月	投資一任業務認可取得
平成3年4月	国内および海外年金の運用受託を開始
平成10年5月	東京海上アセットマネジメント投信株式会社に社名変更し、投資信託法上の委託会社としての免許取得
平成19年9月	金融商品取引業者として登録

- ・大株主の状況（平成23年4月末日現在）

株主名	住所	所有株数	所有比率
東京海上日動火災保険株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目2番1号	38,300株	100.0%

## 2【投資方針】

### (1)【投資方針】

#### 1. 基本方針

TOPIXに連動する投資成果の達成を目標とし、主として同じ目標で運用を行う「TMA日本株TOPIXマザーファンド」受益証券に投資します。

#### 2. 運用方法

##### (1) 主要投資対象

主としてマザーファンド受益証券に投資し、高位の組入比率を維持します。なお、このほか内外の株式等に直接投資することがあります。

##### (2) 投資態度

主として東京証券取引所第一部に上場されている銘柄を主要投資対象として運用するマザーファンド受益証券に投資します。

当ファンドの運用は、ファミリーファンド方式により行います。したがって、実質的な運用は、マザーファンドで行うこととなります。

株式以外の資産(マザーファンド受益証券を通じて投資する場合は、当該マザーファンドの信託財産に属する株式以外の資産のうち、当ファンドの信託財産に属するとみなした部分を含みます。)への投資は、原則として信託財産総額の50%以下とします。

ただし、資金動向、市況動向、残存期間等の事情によっては、上記のような運用が出来ない場合があります。

### <参考情報> マザーファンドの投資方針、主な投資対象と投資制限(要約)

#### TMA日本株TOPIXマザーファンド

<基本方針> TOPIXに連動する投資成果の達成を目標とします。

##### (1)投資対象

東京証券取引所第一部に上場されている銘柄を主要投資対象とします。

##### (2)運用方針

東京証券取引所第一部に上場されている銘柄を中心に、TOPIXとの連動性を考慮し組入を行います。組入銘柄の選択に際しては、流動性その他を考慮し、東京証券取引所第一部上場銘柄であっても組入れない、あるいは東京証券取引所第一部上場以外の銘柄を組入れることもあります。

流動性、機動性、コストなどの観点から、株価指数先物取引を行うことがあります。

基本的には株式への組入比率を高位に保ちますが、資金動向、市況動向によっては実質株式組入比率の調整を機動的に行います。

有価証券等の価格変動リスクを回避するため、日本において行われる有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引、有価証券オプション取引、金利にかかる先物取引および金利にかかるオプション取引ならびに外国の市場における日本の有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引、有価証券オプション取引、金利にかかる先物取引および金利にかかるオプション取引と類似の取引を行うことがあります。また、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引(スワップ取引)を行うことがあります。

##### <投資制限>

(1) 株式への投資割合には、制限を設けません。

(2) 外貨建資産への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。

(3) 新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。

(4) 投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

(5) 同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

(6) 同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

大量の追加設定または解約が生じたとき、市況の急激な変化が予想されるとき、ならびに信託財産の規模によっては上記のような運用ができない場合があります。

### (2)【投資対象】

1. 当ファンドにおいて投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

(1) 次に掲げる特定資産(投資信託及び投資法人に関する法律施行令第3条で定めるものをいいます。以下同じ。)

有価証券

デリバティブ取引にかかる権利(金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、約款第21条(先物取引等の運用指図)、第22条(スワップ取引の運用指図)および第23条(金利先渡取引および為替先渡取引の運用指図)に定めるものに限り、)

金銭債権( に掲げるものに該当するものを除きます。)

約束手形(金融商品取引法第2条第1項第15号に掲げるものを除きます。)

(2) 次に掲げる特定資産以外の資産

為替手形

2. 委託会社は、信託金を、主として東京海上アセットマネジメント投信株式会社を委託会社とし、三菱UFJ信託銀行株式会社を受託会社として締結された「TMA日本株TOPIXマザーファンド」の受益証券および次の有価証券(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。)に投資することを指図します。

(1) 株券または新株引受権証券

(2) 国債証券

(3) 地方債証券

(4) 特別の法律により法人の発行する債券

(5) 社債券(新株引受権証券と社債券が一体となった新株引受権付社債券の新株引受権証券を除きます。)

(6) 特定目的会社にかかる特定社債券(金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。)

(7) 特別の法律により設立された法人の発行する出資証券(金融商品取引法第2条第1項第6号で定めるものをいいます。)

(8) 協同組織金融機関にかかる優先出資証券(金融商品取引法第2条第1項第7号で定めるものをいいます。)

(9) 特定目的会社にかかる優先出資証券または新優先出資引受権を表示する証券(金融商品取引法第2

条第1項第8号で定めるものをいいます。）

- (10) コマーシャル・ペーパー
- (11) 新株引受権証券（新株引受権証券と社債券が一体となった新株引受権付社債券の新株引受権証券を含みます。）および新株予約権証券
- (12) 外国または外国の者の発行する証券または証書で、上記(1)から(11)までの証券または証書の性質を有するもの
- (13) 投資信託または外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。）
- (14) 投資証券、投資法人債券または外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）
- (15) 外国貸付債権信託受益証券（金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。）
- (16) オプションを表示する証券または証書（金融商品取引法第2条第1項第19号で定めるものをいい、有価証券にかかるものに限ります。）
- (17) 預託証書（金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。）
- (18) 外国法人が発行する譲渡性預金証書
- (19) 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）
- (20) 抵当証券（金融商品取引法第2条第1項第16号で定めるものをいいます。）
- (21) 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に表示されるべきもの
- (22) 外国の者に対する権利で上記(21)の有価証券の性質を有するもの  
 なお、(1)の証券または証書、(12)および(17)の証券または証書のうち(1)の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、(2)から(6)までの証券、(12)および(17)の証券または証書のうち(2)から(6)までの証券の性質を有するものならびに(14)の投資法人債券を以下「公社債」といい、(13)の証券および(14)の証券（投資法人債券を除きます。）を以下「投資信託証券」といいます。

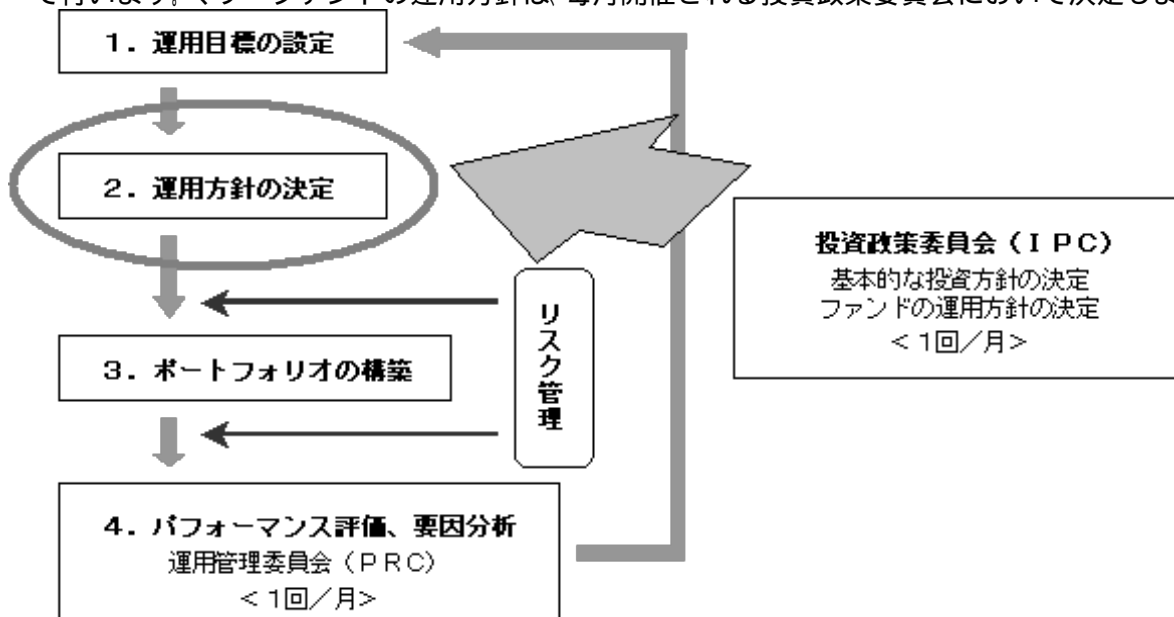
3. 委託会社は、信託金を、上記2. に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することを指図することができます。

- (1) 預金
- (2) 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）
- (3) コール・ローン
- (4) 手形割引市場において売買される手形
- (5) 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの
- (6) 外国の者に対する権利で上記(5)の権利の性質を有するもの

4. 上記2. の規定にかかわらず、当ファンドの設定、解約、償還、投資環境の変動等への対応等、委託会社が運用上必要と認めるときは、委託会社は、信託金を、上記3. に掲げる金融商品により運用することの指図ができます。

### (3) 【運用体制】

当ファンドの運用は、投資方針に基づき日本法人の株式に投資します。実質的な運用は、マザーファンドで行います。マザーファンドの運用方針は、毎月開催される投資政策委員会において決定します。



当ファンドはクオンツ企画運用部（10名）が社内規則である「投資運用業に係る業務運営規程」に基づき運用を担当します。

運用におけるリスク管理は、運用管理室（6名）による法令・運用ガイドライン等の遵守状況のチェックや運用リスク項目のチェック等が随時実施され、担当運用部へフィードバックされるとともに、原則として月1回開催される運用管理委員会（管理本部長を委員長に、運用・営業・商品企画などファンド運用に関係する各部長が参加）において投資行動の評価が行われます。（リスク管理についての詳細は、「3投資リスク」の「3.管理体制」をご参照ください）

この運用管理委員会での評価もふまえて、投資政策委員会（運用本部長を委員長とし、各運用部長が参加）において運用方針を決定し、より質の高い運用体制の維持・向上を目指します。

また、受託銀行等の管理については、関連部署において、受託銀行業務等に関する「内部統制の整備及び運用状況報告書（SAS70）」の入手・検証、現地モニタリング等を通じて実施しております。

（上記の体制や人員等については、平成23年4月末日現在）

#### (4)【配分方針】

年1回（原則として3月20日、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、毎決算時に原則として以下の通り収益分配を行う方針です。

分配対象額は、経費控除後の、繰越分を含めた利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、委託会社が基準価額の水準、市況動向等を勘案して収益分配金額を決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合等には、収益分配を行わないことがあります。なお、収益の分配に充当せず、信託財産内に留保した利益については、投資方針に基づいて運用を行います。

信託財産から生ずる毎計算期末における利益は、次の方法により処理します。

a. 配当金、利子、貸付有価証券にかかる品貸料およびこれらに類する収益から支払利息を控除した額（「配当等収益」といいます。）は、諸経費（ ）、信託報酬および当該信託報酬にかかる消費税および地方消費税（以下「消費税等」といいます。）に相当する金額を控除した後、その残額を受益者に分配することができます。なお、次期以降の分配金にあてるため、その一部を分配準備積立金として積み立てることができます。

b. 売買損益に評価損益を加減した利益金額（以下「売買益」といいます。）は、諸経費（ ）、信託報酬および当該信託報酬にかかる消費税等に相当する金額を控除し、繰越欠損金のあるときは、その全額を売買益をもって補てんした後、受益者に分配することができます。なお、次期以降の分配にあてるため、その一部を分配準備積立金として積み立てることができます。

（ ）諸経費とは、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（消費税等相当額を含みます。）、信託財産の財務諸表の監査に要する費用（消費税等相当額を含みます。）ならびに受託会社の立替えた立替金の利息をいいます。

計算期末において信託財産に損失が生じた場合は、次期に繰越します。

分配金は、毎計算期間終了後1ヵ月以内の委託会社の指定する日（原則として決算日から起算して5営業日まで）から、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（当該収益分配金にかかる決算日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該収益分配金にかかる決算日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とし、）に、お支払いします。なお、「分配金再投資コース」をお申込みの場合は、分配金は税金を差し引いた後、自動的に無手数料で再投資されますが、再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されません。

#### (5)【投資制限】

運用の基本方針に基づく制限（約款別紙「運用の基本方針」）

- a. 株式への投資割合には、制限を設けません。
- b. 委託会社は、信託財産に属する外貨建資産の時価総額とマザーファンドに属する外貨建資産の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が、信託財産の純資産総額の100分の20を超えることとなる投資の指図をしません。  
信託財産に属するとみなした額とは、信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める当該資産の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。（以下同じ。）
- c. 委託会社は、信託財産に属する新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額とマザーファンドに属する新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が、信託財産の純資産総額の100分の20を超えることとなる投資の指図をしません。
- d. 委託会社は、信託財産に属する投資信託証券（マザーファンド受益証券を除きます。）の時価総額とマザーファンドに属する投資信託証券の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が、信託財産の純資産総額の100分の5を超えることとなる投資の指図をしません。
- e. 委託会社は、信託財産に属する同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額とマザーファンドに属する当該同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が、信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません。
- f. 委託会社は、信託財産に属する同一銘柄の転換社債ならびに新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）の時価総額とマザーファンドに属する当該同一銘柄の転換社債ならびに転換社債型新株予約権付社債の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が、信託財産

の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません。

#### 投資する株式等の範囲（約款第18条）

- a. 委託会社が投資することを指図する株式、新株引受権証券および新株予約権証券は、証券取引所に上場されている株式の発行会社の発行するものおよび証券取引所に準ずる市場において取引されている株式の発行会社の発行するものとします。ただし、株主割当または社債権者割当により取得する株式、新株引受権証券および新株予約権証券についてはこの限りではありません。
- b. 上記a.の規定にかかわらず、上場予定または登録予定の株式、新株引受権証券および新株予約権証券で目論見書等において上場または登録されることが確認できるものについては、委託会社が投資することを指図することができるものとします。

#### 信用取引（約款第20条）

- a. 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信用取引により株券を売付けることの指図をすることができます。なお、当該売付の決済については、株券の引渡または買戻により行うことの指図をすることができるものとします。
- b. 上記a.の信用取引の指図は、当該売付にかかる建玉の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する当該売付にかかる建玉の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- c. 信託財産の一部解約等の事由により、上記b.の売付にかかる建玉の時価総額の合計額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する売付の一部を決済するための指図をするものとします。

#### 先物取引等（約款第21条）

- a. 委託会社は、日本国内の証券取引所における有価証券先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。本書において同じ。）、有価証券指数等先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。本書において同じ。）および有価証券オプション取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。本書において同じ。）ならびに外国の取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。なお、選択権取引は、オプション取引に含めるものとします（以下同じ。）。
- b. 委託会社は、日本国内の取引所における通貨にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の取引所における通貨にかかる先物取引およびオプション取引を行うことの指図をすることができます。
- c. 委託会社は、日本国内の取引所における金利にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。

#### スワップ取引（約款第22条）

- a. 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、異なった通貨、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（以下「スワップ取引」といいます。）を行うことの指図をすることができます。
- b. スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- c. スワップ取引の評価は、当該取引契約の相手方が市場実勢金利等をもとに算出した価額で行うものとします。
- d. 委託会社は、スワップ取引を行うにあたり担保の提供あるいは受入が必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入の指図を行うものとします。

#### 金利先渡取引および為替先渡取引（約款第23条）

- a. 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、金利先渡取引および為替先渡取引を行うことの指図をすることができます。
- b. 金利先渡取引および為替先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- c. 金利先渡取引および為替先渡取引の評価は、当該取引契約の相手方が市場実勢金利等をもとに算出した価額で行うものとします。
- d. 委託会社は、金利先渡取引および為替先渡取引を行うにあたり担保の提供あるいは受入が必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入の指図を行うものとします。

#### 有価証券の貸付（約款第24条）

- a. 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産に属する株式および公社債を次の範囲内で貸付の指図をすることができます。
  - ・株式の貸付は、貸付時点において、貸付株式の時価合計額が、信託財産で保有する株式の時価合計額を超えないものとします。
  - ・公社債の貸付は、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、信託財産で保有する公社債の額面金額の合計額を超えないものとします。
- b. 上記a.に定める限度額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する契約の一部の解約を指図するものとします。
- c. 委託会社は、有価証券の貸付にあたって必要と認めるときは、担保の受入の指図を行うものとします。

#### 公社債の空売（約款第25条）

- a. 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産の計算においてする信託財産に属さない公社債を売付けることの指図をすることができます。なお、当該売付の決済については、公社債

(信託財産において借入れた公社債を含みます。)の引渡または買戻により行うことの指図をすることができるものとします。

- b. 上記a.の売付の指図は、当該売付にかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- c. 信託財産の一部解約等の事由により、上記b.の売付にかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する売付の一部を決済するための指図をするものとします。

公社債の借入(約款第26条)

- a. 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、公社債の借入の指図をすることができます。なお、当該公社債の借入を行うにあたり担保の提供が必要と認めるときは、担保の提供の指図を行うものとします。
- b. 上記a.の借入の指図は、当該借入にかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内で行えるものとします。
- c. 信託財産の一部解約等の事由により上記b.の借入にかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する借入れた公社債の一部を返還するための指図をするものとします。

- d. 上記a.の借入にかかる品借料は信託財産中から支弁します。

特別な場合の外貨建有価証券への投資制限(約款第28条)

外貨建有価証券への投資については、日本の国際収支上の理由等により特に必要と認められる場合には、制約されることがあります。

外国為替予約取引(約款第29条)

- a. 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、外国為替の売買の予約取引の指図をすることができます。
- b. 上記a.の指図は、信託財産にかかる為替の買予約の合計額と売予約の合計額との差額につき円換算した額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。ただし、信託財産に属する外貨建資産(マザーファンドの信託財産に属する外貨建資産のうち信託財産に属するとみなした額を含みます。)の為替変動リスクを回避するためにする当該予約取引の指図については、この限りではありません。
- c. 信託財産の一部解約等の事由により上記b.の限度額を超えることとなった場合には、委託会社は所定の期間内にその超える額に相当する為替予約の一部を解消するための外国為替の売買の予約取引の指図をするものとします。

資金の借入(約款第37条)

- a. 委託会社は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性に資するため、一部解約に伴う支払資金の手当て(一部解約に伴う支払資金の手当てのために借入れた資金の返済を含みます。)を目的として、または再投資にかかる収益分配金の支払資金の手当てを目的として、資金借入れ(コール市場を通じる場合を含みます。)の指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行わないものとします。
- b. 一部解約に伴う支払資金の手当てにかかる借入期間は、受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間または受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の解約代金入金日までの間もしくは受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とし、資金借入額は当該有価証券等の売却代金、解約代金および償還金の合計額を限度とします。
- c. 収益分配金の再投資にかかる借入期間は信託財産から収益分配金が支弁される日からその翌営業日までとし、資金借入額は収益分配金の再投資額を限度とします。
- d. 借入金の利息は信託財産中から支弁します。

### 3【投資リスク】

#### 1. 投資リスク

以下の記載は、当ファンドが主要投資対象とするマザーファンドを組み入れることにより、当ファンドが間接的に受ける実質的なリスクを含みます。

##### (1) 価格変動リスク

当ファンドは、主に株式など値動きのある証券を実質的な投資対象としますので、基準価額は変動します。したがって、当ファンドは元本が保証されているものではありません。

委託会社の運用指図によって信託財産に生じた利益および損失は、全て投資家に帰属します。当ファンドへの投資には主に以下のリスクが想定され、これらの影響により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

##### 株価変動リスク

株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。株価は、短期的または長期的に大きく下落することがあります(発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。)。組入銘柄の株価が大きく下落した場合には、基準価額が下落する要因となります。

##### 流動性リスク

受益者から短期間に相当金額の解約申込があった場合、ファンドは組入資産を売却することで解約金額の手当てを行います。組入資産の市場における流動性が低いときには直前の市場価格よりも

大幅に安い価格で売却せざるを得ないことがあります。これに伴い基準価額が大きく下落することがあります。

### (2) T O P I Xとの乖離リスク

当ファンドの投資成果はT O P I Xの動きに連動することを目標としますが、両者は正確に連動するものではなく、いくつかの要因により乖離が生じます。乖離が生じる主な要因は次の通りです。

- ・流動性の確保その他の理由で現預金等を保有すること
- ・東京証券取引所第一部上場銘柄を必ずしも全銘柄保有しないこと、あるいは、保有ウェイトがT O P I Xにおけるウェイトと異なること
- ・株式売買手数料等の取引コストを負担すること
- ・信託報酬等の管理報酬を負担すること

### (3) デリバティブ取引のリスク

当ファンドはデリバティブに投資することがあります。デリバティブの運用には、ヘッジする商品とヘッジされるべき資産との間の相関性を欠いてしまう可能性、流動性を欠く可能性、証拠金を積むことによるリスク等様々なリスクが伴います。これらの運用手法は、信託財産に属する資産の価格変動リスクを回避する目的のみならず、効率的な運用に資する目的でも用いられることがあります。実際の価格変動が委託会社の見通しと異なった場合に当ファンドが損失を被るリスクを伴います。

## 2. その他の留意事項

### (1) 一般的な留意事項

投資信託は、その商品性格から次の特徴をご理解のうえご購入ください。

- ・投資信託は株式・公社債などの値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。
- ・投資信託は金融機関の預金と異なり元金が保証されているものではありません。
- ・投資信託は保険契約および預金ではありません。
- ・投資信託は保険契約者保護機構の補償対象契約ではありません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。
- ・登録金融機関から購入した投資信託は投資者保護基金の補償対象ではありません。
- ・当ファンドは、主に国内株式を実質的な投資対象としています。当ファンドの基準価額は、組入れた株式の値動きやそれらの株式の発行者の信用状況の変化等の影響により上下しますので、投資元本を割り込むことがあります。したがって、当ファンドは元本が保証されているものではありません。
- ・委託会社の運用指図によって信託財産に生じた利益および損失は、全て投資家に帰属します。

### (2) 法令・税制・会計等の変更可能性

法令・税制・会計方法等は今後変更される可能性があります。

### (3) その他の留意点

取得申込者から販売会社に申込代金が支払われた場合であっても、販売会社より委託会社に対して申込代金の払込が現実になされるまでは、当ファンドも委託会社もいかなる責任も負わず、かつその後、受託会社に払込がなされるまでは、取得申込者は受益権および受益権に付随するいかなる権利も取得しません。

一部解約金、収益分配金および償還金の支払は全て販売会社を通じて行われます。

委託会社は、販売会社とは別法人であり、委託会社は設定・運用を善良なる管理者の注意をもって行う責任を負担し、販売会社は販売（申込代金の預り等を含みます。）について責任を負担しており、互いに他について責任を負担しません。

受託会社は、委託会社に収益分配金、一部解約金および償還金を委託会社の指定する預金口座等へ払い込んだ後は、受益者に対し、それらを支払う責任を負いません。

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。そのため、当ファンドが投資対象とするマザーファンドを投資対象とする他のベビーファンドに追加設定・解約等に伴う資金変動等があり、その結果、当該マザーファンドにおいて売買等が生じた場合等には、当ファンドの基準価額に影響を及ぼす場合があります。

## 3. 管理体制

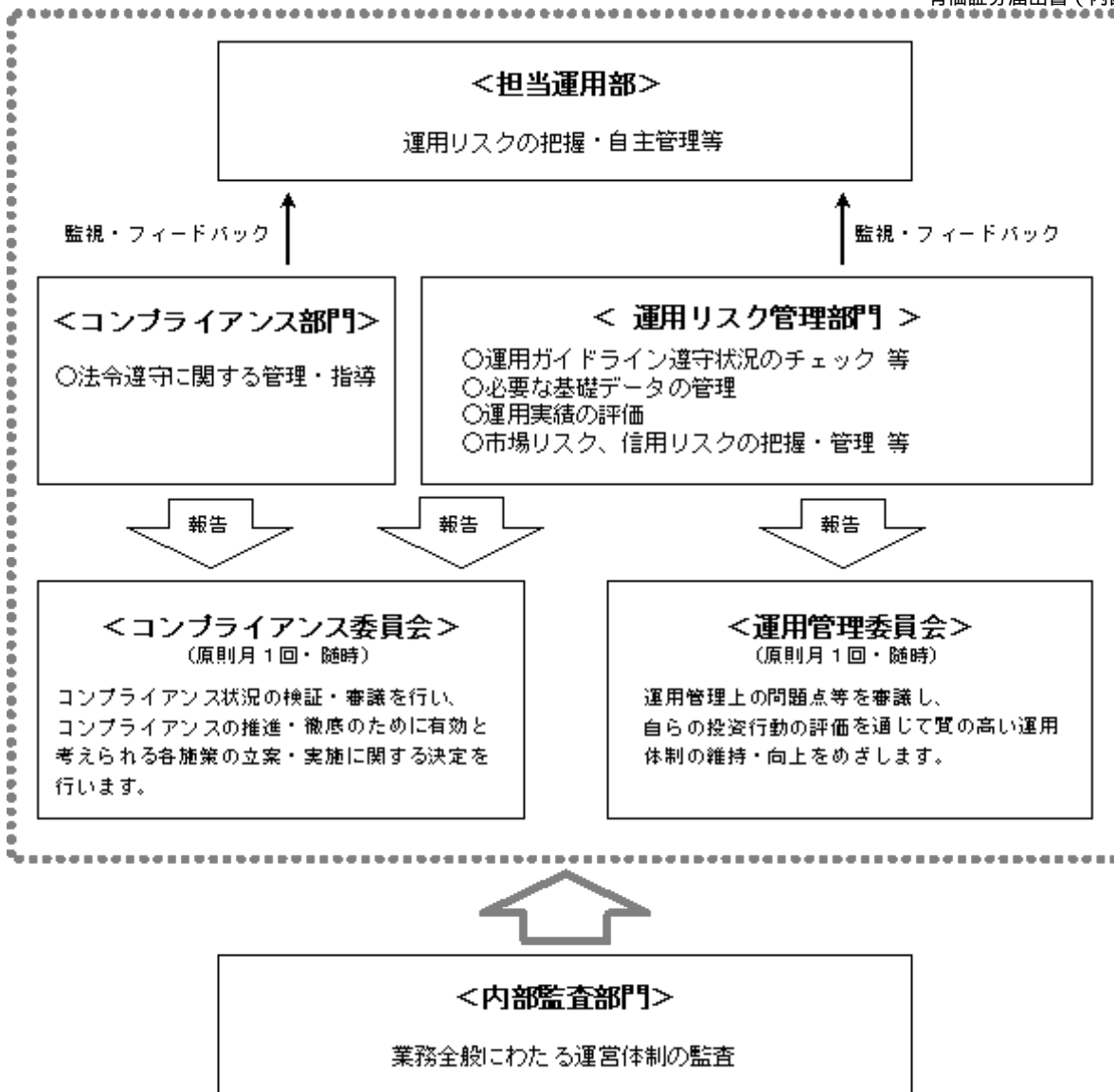
委託会社のリスク管理体制は、担当運用部が自主管理を行うと同時に、担当運用部とは独立した部門において厳格に実施される体制としています。

法令等の遵守状況についてはコンプライアンス部門が、運用リスクの各項目および運用ガイドラインの遵守状況については運用リスク管理部門が、それぞれ適切な運用が行われるよう監視し、担当運用部へのフィードバックおよび所管の委員会への報告・審議を行っています。

これらの内容については、社長をはじめとする関係役員に随時報告が行われるとともに、内部監査部門がこれらの業務全般にわたる運営体制の監査を行うことで、より実効性の高いリスク管理体制を構築しております。

< リスク管理体制 >





#### 4 【手数料等及び税金】

##### (1) 【申込手数料】

申込時の手数料はありません。

##### (2) 【換金（解約）手数料】

換金時（解約時）の手数料はありません。

##### (3) 【信託報酬等】

委託会社、販売会社および受託会社の信託報酬の総額は信託財産の純資産総額に対し、年率0.63%（税抜0.60%）を乗じて得た金額とし、計算期間を通じて、毎日計上します。

の信託報酬（消費税等相当額を含みます。）は、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。

信託報酬の配分については以下の通りとします。

純資産総額	委託会社	販売会社	受託会社
250億円以下の部分	年0.2625% (税抜0.25%)	年0.2730% (税抜0.26%)	年0.0945% (税抜0.09%)
250億円超の部分	年0.2730% (税抜0.26%)	年0.2730% (税抜0.26%)	年0.0840% (税抜0.08%)

##### (4) 【その他の手数料等】

信託財産の財務諸表の監査に要する費用（消費税等相当額を含みます。）は毎日、以下の1年当たりの金額の1日分相当額を計上し、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。



純資産総額	財務諸表の監査に要する費用
200億円以下の場合	純資産総額に0.042%（税抜0.04%）を乗じた金額 （ただし、年42万円（税抜40万円）の1日分相当額を上限とします。）
200億円超の場合	42万円（税抜40万円）+ 純資産総額200億円超の部分に0.00315% （税抜0.003%）を乗じた金額

信託財産に関する租税および信託事務等に要する諸費用（消費税等相当額を含みます。）ならびに受託会社の立替えた立替金の利息は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。

ファンドの組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、先物・オプション取引に要する費用、外国における資産の保管等に要する費用等（全て消費税等相当額を含みます。）は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。

信託財産の一部解約に伴う支払資金の手当て、または再投資にかかる収益分配金の支払資金の手当て等を目的として資金借入れの指図を行った場合、借入金の利息は受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。

監査費用を除くその他の手数料等については実際の取引等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示することができません。

上記(1)から(4)の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

## (5) 【課税上の取扱い】

日本の居住者たる個人または内国法人である受益者に対する課税については、株式投資信託として以下のような取扱いとなります。なお、税法が改正された場合は、以下の内容が変更になることがあります。また、以下は一般的な記載に過ぎませんので、課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家にご確認ください。

### < 個人の受益者に対する課税 >

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については、平成23年12月31日までは10%（所得税7%、地方税3%）の税率による源泉徴収が行われます。申告不要制度の適用がありますが、総合課税または申告分離課税を選択することも可能です。配当控除は、総合課税を選択した場合には適用がありますが、申告不要制度の適用を受けた場合または申告分離課税を選択した場合には適用がありません。申告分離課税を選択した場合の税率は、平成23年12月31日までは10%（所得税7%、地方税3%）となります。収益分配金のうち課税対象となるのは普通分配金のみであり、特別分配金（1）は課税されません。平成24年1月1日以降においては、源泉徴収税率は20%（所得税15%、地方税5%）となり、申告分離課税を選択した場合の税率は20%（所得税15%、地方税5%）となります。

解約時および償還時の譲渡益（解約時および償還時の価額から取得費（申込手数料（税込）を含む）を控除した利益）は、その全額が譲渡所得等の金額とみなされ課税が行われます。譲渡所得等については、平成23年12月31日までは10%（所得税7%、地方税3%）の税率による申告分離課税が適用されず（特定口座（源泉徴収選択口座）での取扱いも可能です。）、

平成24年1月1日以降の税率は、20%（所得税15%、地方税5%）となります。

なお、解約時および償還時の損失については、確定申告により、上場株式等の譲渡益および申告分離課税を選択した上場株式等の配当所得の金額と損益通算が可能です。また、解約時および償還時の譲渡益については、上場株式等の譲渡損と損益通算が可能です。

### < 法人の受益者に対する課税 >

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の「各受益者の個別元本」（2）超過額については、平成23年12月31日までは7%の税率による所得税の源泉徴収が行われます。地方税の源泉徴収はありません。収益分配金のうち所得税法上課税対象となるのは普通分配金のみであり、特別分配金（1）は課税されません。

平成24年1月1日以降の所得税の源泉徴収税率は15%となります。

なお、益金不算入制度が適用されます。

- （1）「特別分配金」とは、収益分配金落ち後の基準価額が各受益者の個別元本を下回る場合、収益分配金のうち当該下回る部分に相当する額をさし、元本の一部払戻しに相当するものです。この場合、当該収益分配金から当該特別分配金を控除した額が普通分配金となります。
- （2）「各受益者の個別元本」とは、原則として各受益者の信託時の受益権の価額等（申込手数料および当該申込手数料にかかる消費税等相当額は含まれません。）をいい、追加信託のつど当該口数により加重平均され、特別分配金が支払われた際に調整されます。

## 5 【運用状況】

以下は平成23年4月28日現在の運用状況です。

また、投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

## (1) 【投資状況】

資産の種類	地域	時価合計（円）	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	1,229,605,024	100.06
コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）		815,006	0.06
合計（純資産総額）		1,228,790,018	100.00

（ご参考：親投資信託の投資状況）

当ファンドが主要投資対象とする親投資信託の投資状況は以下の通りです。

## TMA日本株TOPIXマザーファンド

資産の種類	地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	日本	135,346,186,790	97.99
コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）		2,763,346,216	2.00
合計（純資産総額）		138,109,533,006	100.00

## (2) 【投資資産】

## 【投資有価証券の主要銘柄】

## a. 主要銘柄の明細

順位	銘柄名	地域	種類	口数	帳簿価額		評価額		投資比率（％）
					単価（円）	金額（円）	単価（円）	金額（円）	
1	TMA日本株TOPIXマザーファンド	日本	親投資信託受益証券	2,083,370,086	0.5933	1,236,271,611	0.5902	1,229,605,024	100.06

## b. 投資有価証券の種類

種類	投資比率（％）
親投資信託受益証券	100.06
合計	100.06

## 【投資不動産物件】

該当事項はありません。

## 【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

（ご参考：親投資信託の投資資産）

## 投資有価証券の主要銘柄

## a. 主要銘柄の明細

## TMA日本株TOPIXマザーファンド

順位	銘柄名	地域	業種	種類	株式数	帳簿価額		評価額		投資比率（％）
						単価（円）	金額（円）	単価（円）	金額（円）	
1	トヨタ自動車	日本	輸送用機器	株式	1,515,200	3,344.01	5,066,848,000	3,230.00	4,894,096,000	3.54
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	日本	銀行業	株式	8,818,600	403.06	3,554,438,000	387.00	3,412,798,200	2.47
3	本田技研工業	日本	輸送用機器	株式	996,300	3,146.59	3,134,953,500	3,190.00	3,178,197,000	2.30
4	キャノン	日本	電気機器	株式	733,800	3,640.17	2,671,157,300	3,800.00	2,788,440,000	2.01
5	三井住友フィナンシャルグループ	日本	銀行業	株式	879,900	2,703.42	2,378,747,500	2,495.00	2,195,350,500	1.58
6	三菱商事	日本	卸売業	株式	934,400	2,208.44	2,063,569,400	2,179.00	2,036,057,600	1.47
7	みずほフィナンシャルグループ	日本	銀行業	株式	14,396,100	148.53	2,138,314,200	128.00	1,842,700,800	1.33
8	武田薬品工業	日本	医薬品	株式	463,600	3,900.31	1,808,187,000	3,920.00	1,817,312,000	1.31
9	ソフトバンク	日本	情報・通信業	株式	516,600	3,052.61	1,576,983,000	3,390.00	1,751,274,000	1.26

10	小松製作所	日本	機械	株式	587,000	2,649.38	1,555,191,500	2,840.00	1,667,080,000	1.20
11	ファナック	日本	電気機器	株式	123,200	12,199.37	1,502,963,400	13,450.00	1,657,040,000	1.19
12	日本電信電話	日本	情報・通信業	株式	437,100	3,775.58	1,650,309,800	3,745.00	1,636,939,500	1.18
13	ソニー	日本	電気機器	株式	664,300	2,596.16	1,724,632,000	2,260.00	1,501,318,000	1.08
14	三井物産	日本	卸売業	株式	1,005,100	1,417.36	1,424,598,100	1,432.00	1,439,303,200	1.04
15	エヌ・ティ・ティ・ドコモ	日本	情報・通信業	株式	9,599	147,198.59	1,412,959,320	149,300.00	1,433,130,700	1.03
16	パナソニック	日本	電気機器	株式	1,377,800	1,006.92	1,387,341,570	998.00	1,375,044,400	0.99
17	任天堂	日本	その他製品	株式	67,600	22,416.57	1,515,360,800	19,170.00	1,295,892,000	0.93
18	日立製作所	日本	電気機器	株式	2,659,000	437.61	1,163,612,000	438.00	1,164,642,000	0.84
19	日産自動車	日本	輸送用機器	株式	1,494,300	726.47	1,085,577,200	774.00	1,156,588,200	0.83
20	三菱地所	日本	不動産業	株式	816,000	1,505.25	1,228,288,000	1,408.00	1,148,928,000	0.83
21	三菱電機	日本	電気機器	株式	1,181,000	943.59	1,114,387,000	891.00	1,052,271,000	0.76
22	野村ホールディングス	日本	証券・商品先物取引業	株式	2,455,600	459.67	1,128,774,300	412.00	1,011,707,200	0.73
23	東芝	日本	電気機器	株式	2,339,000	406.45	950,698,000	427.00	998,753,000	0.72
24	東京海上ホールディングス	日本	保険業	株式	441,200	2,277.38	1,004,784,000	2,249.00	992,258,800	0.71
25	セブン&アイ・ホールディングス	日本	小売業	株式	486,000	2,051.74	997,148,000	2,023.00	983,178,000	0.71
26	KDDI	日本	情報・通信業	株式	1,815	511,124.87	927,691,656	538,000.00	976,470,000	0.70
27	東日本旅客鉄道	日本	陸運業	株式	205,800	4,842.86	996,662,500	4,475.00	920,955,000	0.66
28	京セラ	日本	電気機器	株式	98,000	7,889.07	773,129,600	8,890.00	871,220,000	0.63
29	信越化学工業	日本	化学	株式	205,800	4,140.09	852,031,800	4,200.00	864,360,000	0.62
30	日本たばこ産業	日本	食料品	株式	2,734	313,840.82	858,040,820	314,000.00	858,476,000	0.62

## b. 投資有価証券の種類

## TMA日本株TOPIXマザーファンド

種類	国内/国外	業種	投資比率(%)
株式	国内	水産・農林業	0.07
		鉱業	0.67
		建設業	2.10
		食料品	2.98
		繊維製品	0.93
		パルプ・紙	0.32
		化学	5.94
		医薬品	4.61
		石油・石炭製品	0.96
		ゴム製品	0.68
		ガラス・土石製品	1.36
		鉄鋼	2.18
		非鉄金属	1.41
		金属製品	0.72
		機械	5.40
		電気機器	14.46
		輸送用機器	10.04
		精密機器	1.40
		その他製品	1.94
		電気・ガス業	3.32
陸運業	3.26		
海運業	0.52		
空運業	0.26		

	倉庫・運輸関連業	0.22
	情報・通信業	5.88
	卸売業	5.35
	小売業	3.43
	銀行業	8.83
	証券、商品先物取引業	1.32
	保険業	2.58
	その他金融業	0.75
	不動産業	2.28
	サービス業	1.67
合計		97.99

## 投資不動産物件

TMA日本株TOPIXマザーファンド

該当事項はありません。

## その他投資資産の主要なもの

TMA日本株TOPIXマザーファンド

種類	地域	取引所	資産名	買建/ 売建	数量（枚）	帳簿価額	評価額（円）	投資 比率（%）
株価指数先物取引	日本	東京証券取引所	東証株価指数先物 2011年6月	買建	306	2,571,624,000.00	2,611,710,000	1.89

(注)時価については、原則として当該日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しています。このような時価が発表されていない場合には、当該日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しています。

## (3) 【運用実績】

## 【純資産の推移】

期	年月日	純資産総額 （百万円） （分配落）	純資産総額 （百万円） （分配付）	1口当たり 純資産額（円） （分配落）	1口当たり 純資産額（円） （分配付）
2期	(平成14年 3月20日)	4,381	4,381	0.6501	0.6501
3期	(平成15年 3月20日)	2,843	2,843	0.4800	0.4800
4期	(平成16年 3月22日)	4,019	4,019	0.6708	0.6708
5期	(平成17年 3月22日)	4,099	4,099	0.7183	0.7183
6期	(平成18年 3月20日)	5,636	5,636	1.0176	1.0176
7期	(平成19年 3月20日)	4,774	4,774	1.0369	1.0369
8期	(平成20年 3月21日)	2,971	2,971	0.7456	0.7456
9期	(平成21年 3月23日)	962	962	0.4912	0.4912
10期	(平成22年 3月23日)	1,204	1,204	0.5954	0.5954
11期	(平成23年 3月22日)	1,196	1,196	0.5522	0.5522
	平成22年 4月末日	1,252	-	0.6253	-
	5月末日	1,208	-	0.5574	-
	6月末日	1,154	-	0.5332	-
	7月末日	1,189	-	0.5381	-
	8月末日	1,146	-	0.5097	-
	9月末日	1,174	-	0.5293	-
	10月末日	1,153	-	0.5176	-
	11月末日	1,204	-	0.5486	-
	12月末日	1,241	-	0.5731	-

平成23年 1月末日	1,233	-	0.5798	-
2月末日	1,257	-	0.6059	-
3月末日	1,261	-	0.5587	-
4月末日	1,228	-	0.5475	-

## 【分配の推移】

該当事項はありません。

## 【収益率の推移】

期	年月日	収益率(%) (分配付)
2期	(平成14年 3月20日)	14.1
3期	(平成15年 3月20日)	26.2
4期	(平成16年 3月22日)	39.8
5期	(平成17年 3月22日)	7.1
6期	(平成18年 3月20日)	41.7
7期	(平成19年 3月20日)	1.9
8期	(平成20年 3月21日)	28.1
9期	(平成21年 3月23日)	34.1
10期	(平成22年 3月23日)	21.2
11期	(平成23年 3月22日)	7.3

## (4) 【設定及び解約の実績】

期	設定口数(口)	解約口数(口)	発行済み口数(口)
2期	781,884,377	220,436,659	6,738,893,894
3期	1,062,284,576	1,877,091,499	5,924,086,971
4期	649,845,384	581,125,877	5,992,806,478
5期	582,002,807	866,573,159	5,708,236,126
6期	936,176,252	1,105,643,979	5,538,768,399
7期	928,440,441	1,862,208,164	4,605,000,676
8期	856,930,245	1,475,899,024	3,986,031,897
9期	879,247,696	2,905,052,394	1,960,227,199
10期	1,089,311,554	1,025,856,594	2,023,682,159
11期	835,390,136	692,721,173	2,166,351,122

## &lt; 参考情報 &gt;

(平成23年 4月28日現在)

## 基準価額、パフォーマンスなどの状況

### ●基準価額・純資産総額の推移



※基準価額は信託報酬控除後のものです。後述の信託報酬に関する記載をご覧ください。  
 ※ベンチマークは設定日を10,000円として指数化したもので、参考情報として記載しており、ファンドの運用実績ではありません。(設定日:2000年3月21日)  
 ※基準価額は1万口当たりで表示していません。  
 ※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。  
 ※TOPIXは東京証券取引所が発表している東証市場第一部全銘柄の動きを捉える株価指数です。TOPIXの指数値および高値は、東京証券取引所の知的財産であり、TOPIXに関するすべての権利およびノウハウは東京証券取引所が有します。東京証券取引所は、TOPIXの指数値の算出もしくは公表の方法の変更、公表の停止、TOPIXの高値の変更、使用の停止を行う場合があります。

### ●基準価額・純資産総額

基準価額	5,475円
純資産総額	1,229百万円

### ●騰落率(税引前分配金再投資、%)

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	-2.00	-5.57	+5.78	-12.44	-34.63	-45.25
ベンチマーク	-2.02	-6.40	+5.05	-13.70	-37.30	-49.07

※ファンドの騰落率は、税引前分配金を再投資したものと計算しているため、実際の投資家利回りとは異なります。

### ●分配の推移(1万口当たり、税引前)

期	日	金額
第7期	2007年3月20日	0円
第8期	2008年3月21日	0円
第9期	2009年3月23日	0円
第10期	2010年3月23日	0円
第11期	2011年3月22日	0円
設定来累計		分配実績なし

※分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決めます。分配対象額が少額の場合などには、分配を行わないことがあります。

## 主要な資産の状況

当ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行っており、マザーファンドの資産の状況を記載しています。

### ●資産構成

資産	比率(%)
株式	98.0
株式先物	1.9
短期金融資産など	0.1
合計	100.0
純資産総額	138,110百万円

### ●組入上位10業種

業種名	比率(%)
1 電気機器	14.5
2 輸送用機器	10.0
3 銀行業	8.8
4 化学	5.9
5 情報・通信業	5.9
6 機械	5.4
7 卸売業	5.4
8 医薬品	4.6
9 小売業	3.4
10 電気・ガス業	3.3

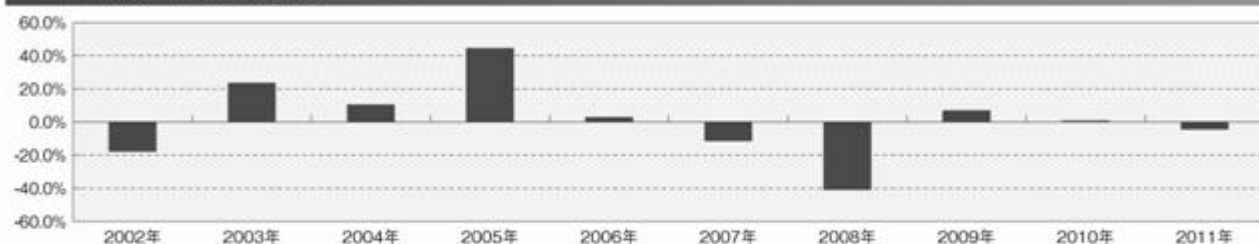
### ●組入上位10銘柄

銘柄名	コード	業種名	比率(%)
1 トヨタ自動車	7203	輸送用機器	3.5
2 三菱UFJ FG	8306	銀行業	2.5
3 本田技研工業	7267	輸送用機器	2.3
4 キヤノン	7751	電気機器	2.0
5 三井住友 FG	8316	銀行業	1.6
6 三菱商事	8058	卸売業	1.5
7 みずほ FG	8411	銀行業	1.3
8 武田薬品工業	4502	医薬品	1.3
9 ソフトバンク	9984	情報・通信業	1.3
10 小松製作所	6301	機械	1.2

組入銘柄数 1,028

※短期金融資産などは、組入有価証券以外のものです。  
 ※比率は、純資産総額に占める割合です。  
 ※株式には、新株予約権証券を含む場合があります。

## 年間収益率の推移



※ファンドの収益率は、税引前分配金を再投資したものと計算しています。  
 ※当年の騰落率は昨年末と基準日の騰落率です。  
 ※上記は過去の実績であり、将来の動向などを示唆・保証するものではありません。

※最新の運用実績は、委託会社のホームページでご確認いただけます。  
 ※ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。  
 ※ベンチマークはあくまで参考情報であり、ファンドの運用実績ではありません。

## 第2【管理及び運営】

### 1【申込(販売)手続等】

- 毎営業日にお申込みを受け付けます。
- 申込方法には、収益分配金の受取方法によって、以下の2種類のコースがあります。

分配金受取りコース	分配金を受け取るコースです。
分配金再投資コース	分配金が税引き後、自動的に無手数料で再投資されるコースです。

- 販売会社やお申込みのコース等によって申込単位は異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

- さい。なお、分配金再投資コースにおける収益分配金の再投資に際しては、1口単位で取得することができます。
- d. 取得申込の受付は、原則として午後3時までとします。受付時間を過ぎてからのお申込みについては翌営業日受付の取扱いとなります。
- e. 受益権の取得申込価額は以下の通りです。  
 取得申込受付日の基準価額  
 基準価額は原則として委託会社の毎営業日に算出され、販売会社または委託会社サービスデスクにお問い合わせることにより知ることができます。  
 委託会社のお問い合わせ先（委託会社サービスデスク）  
 東京海上アセットマネジメント投信 サービスデスク  
 0120-712-016（土日祝日・年末年始を除く9時～17時）
- f. 取得申込にかかる手数料はありません。
- g. 上記にかかわらず、証券取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情が発生し、委託会社が追加設定を制限する措置を取った場合には、販売会社は、受益権の取得申込の受付を中止すること、および既に受け付けた取得申込の受付を取り消すことができます。
- h. 取得申込者は販売会社に、取得申込と同時にまたはあらかじめ当該取得申込者が受益権の振替を行うための振替機関等の口座を申し出るものとし、当該口座に当該取得申込者にかかる口数の増加の記載または記録が行われます。なお、販売会社は、当該取得申込の代金の支払いと引き換えに、当該口座に当該取得申込者にかかる口数の増加の記載または記録を行うことができます。委託会社は、追加信託により分割された受益権について、振替機関等の振替口座簿への新たな記載または記録をするため社振法に定める事項の振替機関等への通知を行うものとし、振替機関等は、委託会社から振替機関等への通知があった場合、社振法の規定にしたがい、その備える振替口座簿への新たな記載または記録を行います。委託会社は、追加信託により生じた受益権については追加信託のつど、振替機関等の定める方法により、振替機関等へ当該受益権にかかる信託を設定した旨の通知を行います。
- i. 定時定額購入サービスを選択した取得申込者は、販売会社との間で定時定額購入サービスに関する取り決めを行います。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 2【換金（解約）手続等】

- a. 受益者は、自己に帰属する受益権につき、一部解約の実行請求（解約請求）の方法によりご換金の請求を行うことができます。
- b. ご換金のお申込みは販売会社で受け付けます。なお、販売会社の買取りによるご換金の請求については、販売会社にお問い合わせください。
- c. 解約請求による換金のお申込みは、毎営業日に行うことができます。
- d. 解約単位は、販売会社やお申込みのコース等によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- e. 解約請求のお申込みの受付は、原則として午後3時までとします。受付時間を過ぎてからのお申込みは翌営業日受付としてお取扱いします。
- f. 解約時の価額（解約価額）は、解約請求受付日の基準価額とします。  
 信託財産留保額ははありません。
- g. 解約価額は、原則として委託会社の毎営業日に算出され、販売会社または委託会社サービスデスクにお問い合わせることにより知ることができます。
- h. 解約にかかる手数料はありません。
- i. 解約代金は、原則として解約請求受付日から起算して4営業日目から、お支払いします。
- j. 委託会社は、証券取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、解約請求の受付を中止することができます。その場合には、受益者は当該受付中止以前に行った当日を解約請求受付日とする解約請求を撤回できます。ただし、受益者がその解約請求を撤回しない場合には、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日にその請求を受け付けたものとして取扱います。
- k. 信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口解約には制限を設ける場合があります。
- l. 受益者が解約の請求をするときは、振替受益権をもって行うものとし、その口座が開設されている振替機関等に対して当該受益者の請求にかかる信託契約の一部解約を委託会社が行うのと引き換えに、当該一部解約にかかる受益権の口数と同口数の抹消の申請が行われ、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。

## 3【資産管理等の概要】

### (1)【資産の評価】

- a. 基準価額とは、受益権1口当たりの純資産価額（純資産総額を計算日における受益権総口数で除した金額）をいいます。ただし、便宜上1万口当たりに換算した価額で表示されることがあります。
- b. 純資産総額とは、信託財産に属する資産（受入担保金代用有価証券および借入有価証券を除きます。）を法令および社団法人投資信託協会規則にしたがって時価または一部償却原価法により評価して得た信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額をいいます。なお、外貨建資産の円換算については、原則として日本における計算日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算し、外国為替予約に基づく予約為替の評価は、原則として日本における計算日の対顧客先物売買相場の仲値による

ものとしします。

< 主要投資対象資産の評価方法 >

対象	評価方法
マザーファンド 受益証券	原則として、当ファンドの基準価額計算日の基準価額で評価します。
株式	原則として、上場されている取引所における計算日（外国株式の場合は、計算時に知り得る直近の日）の最終相場で評価します。
先物取引	国内取引所に上場されているものは、当該取引所が発表する計算日の清算値段または証拠金算定基準値段で評価します。 海外取引所に上場されているものは、当該海外取引所が発表する計算日に知りうる直近の日の清算価格または最終相場で評価します。

- c. 基準価額は、原則として委託会社の毎営業日に算出され、販売会社または委託会社サービスデスクに問い合わせることにより知ることができます。

(2) 【保管】

該当事項はありません。

(3) 【信託期間】

原則として、平成12年3月21日から無期限とします。ただし、後記「(5)その他 信託の終了（繰上償還）」に該当する場合には、信託を終了させることがあります。

(4) 【計算期間】

原則として、毎年3月21日から翌年3月20日までとします。ただし、各計算期間の末日が休業日のときはその翌営業日（ ）を計算期間の末日とし、その翌日より次の計算期間が開始するものとしします。  
（ ）法令により、これと異なる日を計算期間の末日と定めている場合には、法令にしたがいます。

(5) 【その他】

信託の終了（繰上償還）

- 委託会社は、信託契約の一部を解約することにより受益権の総口数が10億口を下ることとなったとき、信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させることができます。この場合において、委託会社は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届け出ます。
- 委託会社は、上記a.の事項について、あらかじめ、解約しようとする旨を公告し、かつ、その旨を記載した書面を信託契約にかかる知られたる受益者に対して交付します。ただし、信託契約にかかる全ての受益者に対して書面を交付したときは、原則として公告を行いません。
- 上記b.の公告および書面には、受益者で異議のある者は、1ヵ月以上の一定の期間内に委託会社に対し異議を述べるべき旨を付記します。
- 上記c.の一定の期間内に異議を述べた受益者の受益権の口数が受益権の総口数の二分の一を超えるときは、上記a.の信託契約の解約をしません。
- 委託会社は、信託契約を解約しないこととしたときは、解約をしない旨およびその理由を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面を知られたる受益者に対して交付します。ただし、全ての受益者に対して書面を交付したときは、原則として公告を行いません。
- 上記c.からe.の規定は、信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合であって、上記c.の一定の期間が1ヵ月を下らずにその公告および書面の交付を行うことが困難な場合は適用しません。
- 信託契約を解約する場合において、上記c.の一定の期間内に異議を申し出た受益者は、受託会社に対し、自己に帰属する受益権を、信託財産をもって買取るべき旨を請求することができます。
- 委託会社は、監督官庁より信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令にしたがい、信託契約を解約し、信託を終了させます。
- 委託会社が監督官庁より登録の取消を受けたとき、解散したときまたは業務を廃止したときは、委託会社は信託契約を解約し、信託を終了させます。ただし、監督官庁が信託契約に関する委託会社の業務を他の投資信託委託会社に引継ぐことを命じたときは、下記「信託約款の変更」d.に該当する場合を除き、当該投資信託委託会社と受託会社との間において存続します。
- 委託会社は、受託会社が委託会社の承諾を受けてその任務を辞任した後、あるいは裁判所が受託会社を解任した後、委託会社が新受託会社を選任できないときは、あらかじめ、監督官庁に届出のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させます。

信託約款の変更

- 委託会社は、受益者の利益のため必要と認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、あらかじめ監督官庁に届出ることにより、信託約款を変更することができます。
- 変更事項のうち、その内容が重大なものとして内閣府令で定めるものに該当するときは、内閣府令で定めるところにより、あらかじめ変更しようとする旨およびその内容を公告し、かつこれらの事項を



記載した書面を知られたる受益者に対して交付します。ただし、全ての受益者に対して書面を交付したときは、原則として公告を行いません。

- c. 上記b.の公告および書面には、受益者で異議のある者は、1ヵ月以上の一定の期間内に委託会社に対し異議を述べるべき旨を付記します。
- d. 上記c.の一定の期間内に異議を述べた受益者の受益権の口数が受益権の総口数の二分の一を超えるときは、上記a.の約款変更を行いません。その場合には、委託会社は、内閣府令で定めるところにより、変更しない旨およびその理由を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面を知られたる受益者に対して交付します。ただし、全ての受益者に対して書面を交付したときは、原則として公告を行いません。
- e. その内容が重大なものとして内閣府令で定めるものに該当する信託約款の変更を行う場合において、上記c.の一定の期間内に異議を申し出た受益者は、受託会社に対し、自己に帰属する受益権を、信託財産をもって買取るべき旨を請求することができます。
- f. 委託会社は、監督官庁の命令に基づいて信託約款を変更しようとするときは、上記b.からd.の規定にしたがいます。

関係会社との契約の更改等

委託会社と販売会社との間の募集・販売等の取扱いに関する契約は、当事者の別段の意思表示がない限り、1年ごとに自動更新されます。募集・販売等の取扱いに関する契約は、当事者間の合意により変更することができます。

運用報告書

毎決算時および償還時に、委託会社が、期間中の運用経過のほか、信託財産の内容、有価証券売買状況などを記載した運用報告書を作成します。運用報告書は、知っている受益者に対して、販売会社から、あらかじめお申し出いただいたご住所にお届けします。なお、期間中に行った信託約款の変更等のうち、委託会社が重要と判断した事項については、運用報告書に記載します。

#### 4【受益者の権利等】

当ファンドの受益者の有する主な権利は以下の通りです。なお、議決権、受益者集会に関する権利は有しません。

##### a. 収益分配金の請求権

収益分配金は、毎計算期間終了後1ヵ月以内の委託会社の指定する日(原則として決算日から起算して5営業日まで)から、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者(当該収益分配金にかかる決算日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該収益分配金にかかる計算期間の末日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者として)に、お支払いします。ただし、受益者が収益分配金について、上記に規定する支払開始日から5年間その支払いを請求しないときは、その権利を失い、委託会社が受託会社より交付を受けた金銭は、委託会社に帰属します。なお、分配金再投資コースの収益分配金は、税金を差し引いた後、自動的に無手数料で再投資されますが、再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

##### b. 償還金の請求権

償還金(信託終了時における信託財産の純資産総額を受益権総口数で除した金額をいいます。以下同じ。)は、信託終了日後1ヵ月以内の委託会社の指定する日(原則として償還日(償還日が休業日の場合には当該償還日の翌営業日)から起算して5営業日まで)から、償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者(償還日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者として)にお支払いします。ただし、受益者が償還金について、上記に規定する支払開始日から10年間その支払いを請求しないときは、その権利を失い、委託会社が受託会社より交付を受けた金銭は委託会社に帰属します。

##### c. 換金(解約)請求権

受益者は、自己に帰属する受益権について、一部解約の実行請求の方法により、換金を請求することができます。詳細は上記「2 換金(解約)手続等」をご参照ください。

##### d. 買取請求権

信託契約を解約して信託を終了させるとき、および信託約款の変更を行う場合において、その内容が重大なものとして内閣府令で定めるものに該当するときは、委託会社によって定められた期間内に異議を述べた受益者は、受託会社に対し、自己に帰属する受益権を、信託財産をもって買取るべき旨を請求することができます。

### 第3【ファンドの経理状況】

- (1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)に基づいて作成しております。なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

- (2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づいて、第10期計算期間（平成21年3月24日から平成22年3月23日まで）及び第11期計算期間（平成22年3月24日から平成23年3月22日まで）の財務諸表について、あらた監査法人により監査を受けております。

## 1【財務諸表】

東京海上日本株TOPIXファンド

## (1)【貸借対照表】

(単位：円)

	第10期 [平成22年 3月23日現在]	第11期 [平成23年 3月22日現在]
<b>資産の部</b>		
流動資産		
親投資信託受益証券	1,204,888,693	1,196,348,559
未収入金	14,364,246	6,696,253
流動資産合計	1,219,252,939	1,203,044,812
資産合計		
	1,219,252,939	1,203,044,812
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払解約金	10,572,320	2,682,459
未払受託者報酬	537,299	570,572
未払委託者報酬	3,044,627	3,233,222
その他未払費用	210,000	210,000
流動負債合計	14,364,246	6,696,253
負債合計		
	14,364,246	6,696,253
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	<sub>1</sub> 2,023,682,159	<sub>1</sub> 2,166,351,122
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	<sub>2</sub> 818,793,466	<sub>2</sub> 970,002,563
（分配準備積立金）	144,166,005	119,931,669
元本等合計	1,204,888,693	1,196,348,559
純資産合計		
	1,204,888,693	1,196,348,559
負債純資産合計		
	1,219,252,939	1,203,044,812

## (2)【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第10期 自平成21年3月24日 至平成22年3月23日	第11期 自平成22年3月24日 至平成23年3月22日
営業収益		
有価証券売買等損益	213,726,011	73,616,244
営業収益合計	213,726,011	73,616,244
営業費用		
受託者報酬	1,059,125	1,142,112
委託者報酬	6,001,578	6,471,902
その他費用	419,714	420,000
営業費用合計	7,480,417	8,034,014
営業利益又は営業損失（ ）	206,245,594	81,650,258
経常利益又は経常損失（ ）	206,245,594	81,650,258
当期純利益又は当期純損失（ ）	206,245,594	81,650,258
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	64,056,766	12,637,136
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	997,383,004	818,793,466
剰余金増加額又は欠損金減少額	505,147,738	284,229,086
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	505,147,738	284,229,086
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
剰余金減少額又は欠損金増加額	468,747,028	366,425,061
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	468,747,028	366,425,061
分配金	1	1
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	818,793,466	970,002,563

## (3)【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	第10期 自 平成21年 3月24日 至 平成22年 3月23日	第11期 自 平成22年 3月24日 至 平成23年 3月22日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。	親投資信託受益証券 同左
2. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	計算期間末日の取扱い 平成21年3月20日とその翌日とその翌々日及び平成22年3月20日とその翌日とその翌々日が休日のため、前計算期間末日を平成21年3月23日とし、当計算期間末日を平成22年3月23日としております。このため、当計算期間は、365日となっております。	計算期間末日の取扱い 平成22年3月20日とその翌日とその翌々日及び平成23年3月20日とその翌日が休日のため、前計算期間末日を平成22年3月23日とし、当計算期間末日を平成23年3月22日としております。このため、当計算期間は、364日となっております。

(貸借対照表に関する注記)

区 分	第10期 [平成22年 3月23日現在]	第11期 [平成23年 3月22日現在]
1. 1 期首元本額	1,960,227,199円	2,023,682,159円
期中追加設定元本額	1,089,311,554円	835,390,136円
期中一部解約元本額	1,025,856,594円	692,721,173円
2. 1 計算期間末日における受益権の総数	2,023,682,159口	2,166,351,122口
3. 2 元本の欠損	貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は818,793,466円であります。	貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は970,002,563円であります。

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

第10期 自 平成21年 3月24日 至 平成22年 3月23日	第11期 自 平成22年 3月24日 至 平成23年 3月22日
1 分配金の計算過程 計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（18,983,215円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（0円）、投資信託約款に規定される収益調整金（276,192,261円）及び分配準備積立金（125,182,790円）より、分配対象額は420,358,266円（1万口当たり2,077.18円）でありませんが、分配を行っておりません。	1 分配金の計算過程 計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（15,659,254円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（0円）、投資信託約款に規定される収益調整金（346,281,304円）及び分配準備積立金（104,272,415円）より、分配対象額は466,212,973円（1万口当たり2,152.04円）でありませんが、分配を行っておりません。

(金融商品に関する注記)  
(追加情報)

第10期 自 平成21年 3月24日 至 平成22年 3月23日	第11期 自 平成22年 3月24日 至 平成23年 3月22日
-	当計算期間より、「金融商品に関する会計基準」（改正企業会計基準第10号平成20年3月10日）及び「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第19号平成20年3月10日）を適用しております。

### 1. 金融商品の状況に関する事項

区 分	第10期 自 平成21年 3月24日 至 平成22年 3月23日	第11期 自 平成22年 3月24日 至 平成23年 3月22日
1. 金融商品に対する取組方針	-	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行なっております。
2. 金融商品の内容及びそのリスク	-	当ファンドが運用する主な金融商品は「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載の有価証券であります。当該有価証券には、性質に応じてそれぞれ価格変動リスク、流動性リスク、信用リスク等があります。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	-	委託会社のリスク管理体制は、担当運用部が自主管理を行うと同時に、担当運用部とは独立した部門において厳格に実施される体制としています。 法令等の遵守状況についてはコンプライアンス部門が、運用リスクの各項目および運用ガイドラインの遵守状況については運用リスク管理部門が、それぞれ適切な運用が行われるよう監視し、担当運用部へのフィードバックおよび所管の委員会への報告・審議を行っています。 これらの内容については、社長をはじめとする関係役員に随時報告が行われるとともに、内部監査部門がこれらの業務全般にわたる運営体制の監査を行うことで、より実効性の高いリスク管理体制を構築しております。

### ・ 金融商品の時価等に関する事項

区 分	第10期 自 平成21年 3月24日 至 平成22年 3月23日	第11期 自 平成22年 3月24日 至 平成23年 3月22日
1. 貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	-	貸借対照表計上額は原則として期末の時価で計上しているため、その差額はありません。

2. 時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項	-	(1)有価証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品については、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似しているため、当該帳簿価額を時価としております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	-	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）  
第10期（自 平成21年3月24日 至 平成22年3月23日）  
売買目的有価証券

（単位：円）

種類	貸借対照表計上額	当計算期間の損益に含まれた評価差額
親投資信託受益証券	1,204,888,693	156,262,844
合計	1,204,888,693	156,262,844

第11期（自 平成22年3月24日 至 平成23年3月22日）  
売買目的有価証券

（単位：円）

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
親投資信託受益証券	47,415,259
合計	47,415,259

（注）時価の算定方法については、重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。

（1口当たり情報に関する注記）

第10期 [平成22年 3月23日現在]		第11期 [平成23年 3月22日現在]	
1口当たり純資産額	0.5954円	1口当たり純資産額	0.5522円
（1万口当たり純資産額	5,954円）	（1万口当たり純資産額	5,522円）

#### (4) 【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1)株式

該当事項はありません。

(2)株式以外の有価証券

（単位：円）

種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
----	----	------	-----	----

親投資信託 受益証券	TMA日本株TOPIXマザーファンド	2,011,007,832	1,196,348,559	
親投資信託受益証券 合計		2,011,007,832	1,196,348,559	
合計		2,011,007,832	1,196,348,559	

第2 信用取引契約残高明細表  
該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表  
該当事項はありません。

（ご参考）

当ファンドは、「TMA日本株TOPIXマザーファンド」を主要な投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」はすべて同ファンドの受益証券です。なお、同ファンドの状況は次のとおりです。

なお、以下に記載した情報は監査の対象ではありません。

「TMA日本株TOPIXマザーファンド」の状況

(1) 貸借対照表

区 分	注記 番号	[平成22年 3月23日現在]	[平成23年 3月22日現在]
		金額（円）	金額（円）
資産の部			
流動資産			
コール・ローン		2,601,192,079	1,285,857,834
株式	2	143,304,912,910	124,424,564,380
派生商品評価勘定		63,842,000	3,509,500
未収入金		109,060,000	
未収配当金		150,318,071	159,545,021
未収利息		6,196	2,174
前払金			175,685,000
流動資産合計		146,229,331,256	126,049,163,909
資産合計		146,229,331,256	126,049,163,909
負債の部			
流動負債			
派生商品評価勘定			110,720,000
前受金		65,212,000	
未払解約金		190,364,456	40,199,766
流動負債合計		255,576,456	150,919,766
負債合計		255,576,456	150,919,766
純資産の部			
元本等			
元本	1	229,176,813,757	211,611,641,344
剰余金			
剰余金又は欠損金（ ）	3	83,203,058,957	85,713,397,201
元本等合計		145,973,754,800	125,898,244,143
純資産合計		145,973,754,800	125,898,244,143
負債純資産合計		146,229,331,256	126,049,163,909



## (2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	自 平成21年 3月24日 至 平成22年 3月23日	自 平成22年 3月24日 至 平成23年 3月22日
1. 有価証券の評価基準及び 評価方法	株式 移動平均法に基づき、原則として 時価で評価しております。時 価評価にあたっては、金融商品 取引所等における最終相場 (最終相場のないものについ ては、それに準ずる価額)、又 は金融商品取引業者等から提 示される気配相場に基づいて 評価しております。	株式 同左
2. デリバティブ等の評価基 準及び評価方法	先物取引 個別法に基づき、原則として時 価で評価しております。時価評 価にあたっては、原則として、 計算日に知りうる直近の日の 主たる取引所の発表する清算 値段又は最終相場によってお ります。	先物取引 同左

(貸借対照表に関する注記)

区 分	[平成22年 3月23日現在]	[平成23年 3月22日現在]
1. 1 本書における開示対象ファンドの期 首における当該親投資信託の元本額	239,002,871,763円	229,176,813,757円
同期中における追加設定元本額	53,007,777,926円	36,946,209,701円
同期中における一部解約元本額	62,833,835,932円	54,511,382,114円
同期末における元本額	229,176,813,757円	211,611,641,344円
元本の内訳*		
東京海上日本株T O P I Xファンド	1,891,801,999円	2,011,007,832円
東京海上セレクション・日本株 T O P I X	10,342,855,423円	11,955,352,644円
L P S 4 資産分散ファンド (慎重型)	128,422円	1,094,813円
L P S 4 資産分散ファンド (安定重視型)	1,433,516円	1,748,415円
L P S 4 資産分散ファンド (バランス型)	530,225円	3,220,313円
L P S 4 資産分散ファンド (成長重視型)	755,184円	3,448,909円
L P S 4 資産分散ファンド (積極型)	717,073円	1,668,880円
T M A 日本株式インデックスV A <適格機関投資家限定>	134,348,901,035円	122,590,273,133円
T M A 世界バランスファンド55V A <適格機関投資家限定>	7,314,854,291円	7,034,857,993円
T M A 世界バランスファンド35V A <適格機関投資家限定>	75,274,836,589円	68,008,968,412円
計	229,176,813,757円	211,611,641,344円
2. 1 本書における開示対象ファンドの計 算期間末日における当該親投資信託 の受益権の総数	229,176,813,757口	211,611,641,344口

3. 2 担保資産	代用有価証券として、担保に供している資産は次のとおりであります。  株式 2,842,060,000円	代用有価証券として、担保に供している資産は次のとおりであります。  株式 836,250,000円
4. 3 元本の欠損	貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は83,203,058,957円であります。	貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は85,713,397,201円であります。

(注1) \*は当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

(注2) 3.については、決算日現在の代用有価証券の時価額を記載

(金融商品に関する注記)

(追加情報)

自 平成21年 3月24日 至 平成22年 3月23日	自 平成22年 3月24日 至 平成23年 3月22日
-	本書における開示対象ファンドの当計算期間より、「金融商品に関する会計基準」(改正企業会計基準第10号平成20年3月10日)及び「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第19号平成20年3月10日)を適用しております。

#### 1. 金融商品の状況に関する事項

区 分	自 平成21年 3月24日 至 平成22年 3月23日	自 平成22年 3月24日 至 平成23年 3月22日
1. 金融商品に対する取組方針	-	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」(昭和26年法律第198号)第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行なっております。
2. 金融商品の内容及びそのリスク	-	当ファンドが運用する主な金融商品は「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載の有価証券及びデリバティブ取引であります。デリバティブ取引には、先物取引が含まれております。当該有価証券及びデリバティブ取引には、性質に応じてそれぞれ価格変動リスク、流動性リスク、信用リスク等があります。

3. 金融商品に係るリスク管理体制		<p>委託会社のリスク管理体制は、担当運用部が自主管理を行うと同時に、担当運用部とは独立した部門において厳格に実施される体制としています。</p> <p>法令等の遵守状況についてはコンプライアンス部門が、運用リスクの各項目および運用ガイドラインの遵守状況については運用リスク管理部門が、それぞれ適切な運用が行われるよう監視し、担当運用部へのフィードバックおよび所管の委員会への報告・審議を行っています。</p> <p>これらの内容については、社長をはじめとする関係役員に随時報告が行われるとともに、内部監査部門がこれらの業務全般にわたる運営体制の監査を行うことで、より実効性の高いリスク管理体制を構築しております。</p>
-------------------	--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## ・ 金融商品の時価等に関する事項

区 分	自 平成21年 3月24日 至 平成22年 3月23日	自 平成22年 3月24日 至 平成23年 3月22日
1. 貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	-	貸借対照表計上額は原則として期末の時価で計上しているため、その差額はありません。
2. 時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項	-	<p>(1)有価証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。</p> <p>(2)デリバティブ取引 （デリバティブ取引等に関する注記）に記載しております。</p> <p>(3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品については、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似しているため、当該帳簿価額を時価としております。</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	-	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額又は計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。

(有価証券に関する注記)

(自 平成21年3月24日 至 平成22年3月23日)

## 売買目的有価証券

(単位：円)

種類	貸借対照表計上額	当期間の損益に含まれた評価差額
株式	143,304,912,910	21,970,750,488
合計	143,304,912,910	21,970,750,488

(注)「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から本書における開示対象ファンドの期末までの期間(平成21年3月24日から平成22年3月23日まで)を指しております。

(自 平成22年3月24日 至 平成23年3月22日)  
売買目的有価証券

(単位：円)

種類	当期間の損益に含まれた評価差額
株式	9,935,833,539
合計	9,935,833,539

(注1)時価の算定方法については、重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。

(注2)「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から本書における開示対象ファンドの期末までの期間(平成22年3月24日から平成23年3月22日まで)を指しております。

(デリバティブ取引等に関する注記)  
I. 取引の状況に関する事項

区分	自 平成21年 3月24日 至 平成22年 3月23日	自 平成22年 3月24日 至 平成23年 3月22日
1. 取引の内容	当ファンドの利用しているデリバティブ取引は株価指数先物取引であります。	-
2. 取引に対する取り組み方針と取引の利用目的	現物有価証券の代替として、株価指数先物のデリバティブを運用目的で行っております。なお、レバレッジを掛けたリスクの高い運用は行っておりません。	-
3. 取引に係るリスクの内容	株価指数先物取引には株式価格の変動によるリスクを有しております。なお、デリバティブ取引の契約先は、いずれも信用度の高い金融機関等であるため、信用リスクはほとんどないと判断しております。	-
4. 取引に係るリスクの管理体制	デリバティブ取引の執行・管理については、取引権限及び取引限度額等を定めた信託約款及び社内規定に基づき行っております。	-
5. 取引の時価等に関する事項についての補足説明	取引の時価に関する事項についての契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額、又は計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。	-

取引の時価等に関する事項  
株式関連

(平成22年3月23日現在)

(単位：円)

区分	種類	契約額等	時価	評価損益
			うち1年超	

市場取引	株価指数先物取引				
	買建	2,510,388,000		2,574,230,000	63,842,000
	東証株価指数先物	2,510,388,000		2,574,230,000	63,842,000
合計		2,510,388,000		2,574,230,000	63,842,000

(平成23年3月22日現在)

(単位：円)

区分	種類	契約額等	うち1年超	時価	評価損益
市場取引	株価指数先物取引				
	買建	1,573,450,000		1,466,250,000	107,200,000
	東証株価指数先物	1,573,450,000		1,466,250,000	107,200,000
合計		1,573,450,000		1,466,250,000	107,200,000

(注)1.時価の算定方法

- 株価指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。  
原則として本書における開示対象ファンドの計算期間末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、同計算期間末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。
2. 株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
  3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。
  4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報に関する注記)

[平成22年 3月23日現在]		[平成23年 3月22日現在]	
本書における開示対象ファンドの 期末における1口当たり純資産額	0.6369円	本書における開示対象ファンドの 期末における1口当たり純資産額	0.5949円
(1万口当たり純資産額	6,369円)	(1万口当たり純資産額	5,949円)

[次へ](#)

(3) 附属明細表  
第1 有価証券明細表  
(1) 株式

(単位:円)

銘柄	株式数	評価額		備考
		単価	金額	
日本水産	138,700	238.00	33,010,600	
マルハニチロホールディングス	228,000	125.00	28,500,000	
サカタのタネ	26,600	1,149.00	30,563,400	
ホクト	11,600	1,778.00	20,624,800	
日鉄鉱業	47,000	396.00	18,612,000	
国際石油開発帝石	1,217	600,000.00	730,200,000	
関東天然瓦斯開発	26,000	462.00	12,012,000	
石油資源開発	20,400	4,020.00	82,008,000	
ショーボンドホールディングス	13,000	2,286.00	29,718,000	
ミライト・ホールディングス	55,300	620.00	34,286,000	
東急建設	58,960	248.00	14,622,080	
コムシスホールディングス	53,500	742.00	39,697,000	
ミサワホーム	57,100	480.00	27,408,000	
ヤマウラ	55,000	237.00	13,035,000	
大成建設	554,000	224.00	124,096,000	
大林組	356,000	390.00	138,840,000	
清水建設	325,000	397.00	129,025,000	
長谷工コーポレーション	845,500	66.00	55,803,000	
鹿島建設	531,000	262.00	139,122,000	
前田建設工業	84,000	290.00	24,360,000	
奥村組	99,000	348.00	34,452,000	
東鉄工業	35,000	719.00	25,165,000	
戸田建設	124,000	326.00	40,424,000	
大東建託	46,000	6,400.00	294,400,000	
NIPPON	42,000	685.00	28,770,000	
前田道路	35,000	835.00	29,225,000	
大林道路	50,000	246.00	12,300,000	
住友林業	81,500	745.00	60,717,500	
日本基礎技術	56,600	329.00	18,621,400	
パナホーム	61,000	566.00	34,526,000	
大和ハウス工業	300,000	1,088.00	326,400,000	
積水ハウス	358,000	812.00	290,696,000	
ユアテック	44,000	534.00	23,496,000	
西部電気工業	56,000	375.00	21,000,000	
中電工	20,200	1,056.00	21,331,200	
関電工	49,000	515.00	25,235,000	
きんでん	73,000	713.00	52,049,000	
東京エネシス	26,000	542.00	14,092,000	
トーエネック	48,000	457.00	21,936,000	
日本電設工業	30,000	796.00	23,880,000	

協和エクシオ	37,200	762.00	28,346,400	
新日本空調	29,500	405.00	11,947,500	
九電工	18,000	466.00	8,388,000	
三機工業	36,000	502.00	18,072,000	
日揮	123,000	1,881.00	231,363,000	
中外炉工業	23,000	358.00	8,234,000	
ヤマト	90,000	307.00	27,630,000	
太平電業	31,000	560.00	17,360,000	
高砂熱学工業	37,000	714.00	26,418,000	
NEC ネットエスアイ	18,300	1,019.00	18,647,700	
大気社	22,900	1,700.00	38,930,000	
日比谷総合設備	23,500	718.00	16,873,000	
東芝プラントシステム	20,000	1,033.00	20,660,000	
東洋エンジニアリング	85,000	294.00	24,990,000	
千代田化工建設	80,000	717.00	57,360,000	
新興プランテック	25,400	953.00	24,206,200	
日本製粉	68,000	367.00	24,956,000	
日清製粉グループ本社	106,000	925.00	98,050,000	
日本甜菜製糖	59,000	188.00	11,092,000	
三井製糖	88,000	326.00	28,688,000	
森永製菓	134,000	195.00	26,130,000	
中村屋	60,000	414.00	24,840,000	
江崎グリコ	38,000	926.00	35,188,000	
山崎製パン	86,000	933.00	80,238,000	
森永乳業	89,000	305.00	27,145,000	
ヤクルト本社	63,800	2,132.00	136,021,600	
明治ホールディングス	35,800	3,455.00	123,689,000	
雪印メグミルク	20,200	1,367.00	27,613,400	
日本ハム	80,000	980.00	78,400,000	
伊藤ハム	101,000	297.00	29,997,000	
丸大食品	35,000	266.00	9,310,000	
米久	29,000	642.00	18,618,000	
サッポロホールディングス	175,000	321.00	56,175,000	
アサヒビール	222,800	1,438.00	320,386,400	
キリンホールディングス	479,000	1,082.00	518,278,000	
宝ホールディングス	102,000	407.00	41,514,000	
コカ・コーラウエスト	33,700	1,377.00	46,404,900	
コカ・コーラ セントラル ジャパン	19,900	1,073.00	21,352,700	
ダイトードリンク	5,700	3,270.00	18,639,000	
伊藤園	34,300	1,350.00	46,305,000	
キーコーヒー	17,400	1,490.00	25,926,000	
ジャパンフーズ	16,400	779.00	12,775,600	
日清オイリオグループ	60,000	415.00	24,900,000	
不二製油	25,500	1,108.00	28,254,000	
J - オイルミルズ	88,000	236.00	20,768,000	

キッコーマン	94,000	785.00	73,790,000	
味の素	328,000	856.00	280,768,000	
キューピー	56,600	991.00	56,090,600	
ハウス食品	39,200	1,295.00	50,764,000	
カゴメ	40,800	1,462.00	59,649,600	
アリアケジャパン	15,100	1,423.00	21,487,300	
ニチレイ	135,000	327.00	44,145,000	
東洋水産	51,000	1,817.00	92,667,000	
日清食品ホールディングス	42,900	2,866.00	122,951,400	
永谷園	34,000	853.00	29,002,000	
フジッコ	24,000	988.00	23,712,000	
ロック・フィールド	19,500	1,262.00	24,609,000	
日本たばこ産業	2,484	315,000.00	782,460,000	
片倉工業	20,700	779.00	16,125,300	
ゲンゼ	71,000	307.00	21,797,000	
東洋紡績	405,000	117.00	47,385,000	
日清紡ホールディングス	70,000	755.00	52,850,000	
倉敷紡績	173,000	151.00	26,123,000	
日本毛織	40,000	670.00	26,800,000	
帝国繊維	57,000	507.00	28,899,000	
帝人	422,000	358.00	151,076,000	
東レ	872,000	584.00	509,248,000	
日本フェルト	28,100	411.00	11,549,100	
日本バイリーン	44,000	397.00	17,468,000	
セーレン	37,700	541.00	20,395,700	
小松精練	42,000	351.00	14,742,000	
ワコールホールディングス	63,000	1,029.00	64,827,000	
ホギメディカル	7,100	3,425.00	24,317,500	
三陽商会	70,000	269.00	18,830,000	
オンワードホールディングス	75,000	646.00	48,450,000	
東京スタイル	50,000	577.00	28,850,000	
デザート	37,000	347.00	12,839,000	
特種東海製紙	74,000	161.00	11,914,000	
王子製紙	487,000	362.00	176,294,000	
三菱製紙	197,000	79.00	15,563,000	
北越紀州製紙	75,500	413.00	31,181,500	
大王製紙	56,000	583.00	32,648,000	
日本製紙グループ本社	52,300	1,876.00	98,114,800	
レンゴー	83,000	498.00	41,334,000	
ザ・バック	14,300	1,296.00	18,532,800	
クラレ	164,200	1,031.00	169,290,200	
旭化成	657,000	546.00	358,722,000	
共和レザー	9,800	292.00	2,861,600	
昭和電工	772,000	164.00	126,608,000	
住友化学	778,000	396.00	308,088,000	



住友精化	52,000	401.00	20,852,000	
日産化学工業	85,000	840.00	71,400,000	
クレハ	70,000	368.00	25,760,000	
石原産業	259,000	92.00	23,828,000	
片倉チッカリン	54,000	225.00	12,150,000	
日本曹達	74,000	333.00	24,642,000	
東ソー	281,000	265.00	74,465,000	
トクヤマ	177,000	401.00	70,977,000	
セントラル硝子	107,000	314.00	33,598,000	
東亜合成	109,000	395.00	43,055,000	
ダイソー	83,000	255.00	21,165,000	
電気化学工業	237,000	373.00	88,401,000	
信越化学工業	186,600	4,140.00	772,524,000	
堺化学工業	36,000	389.00	14,004,000	
エア・ウォーター	88,000	1,002.00	88,176,000	
大陽日酸	142,000	659.00	93,578,000	
日本パーカライジング	30,000	1,118.00	33,540,000	
四国化成工業	55,000	519.00	28,545,000	
戸田工業	46,000	732.00	33,672,000	
ステラ ケミファ	6,100	3,035.00	18,513,500	
日本触媒	88,000	891.00	78,408,000	
カネカ	139,000	570.00	79,230,000	
三菱瓦斯化学	174,000	580.00	100,920,000	
三井化学	516,000	278.00	143,448,000	
J S R	94,900	1,644.00	156,015,600	
東京応化工業	18,700	1,619.00	30,275,300	
三菱ケミカルホールディングス	659,000	518.00	341,362,000	
ダイセル化学工業	150,000	486.00	72,900,000	
住友ベークライト	97,000	500.00	48,500,000	
積水化学工業	238,000	628.00	149,464,000	
日本ゼオン	110,000	723.00	79,530,000	
アイカ工業	32,300	1,077.00	34,787,100	
宇部興産	470,000	254.00	119,380,000	
積水樹脂	16,000	779.00	12,464,000	
旭有機材工業	43,000	222.00	9,546,000	
日立化成工業	51,200	1,699.00	86,988,800	
群栄化学工業	113,000	213.00	24,069,000	
タイガースポリマー	22,600	356.00	8,045,600	
日本化薬	80,000	719.00	57,520,000	
A D E K A	48,500	730.00	35,405,000	
日油	98,000	361.00	35,378,000	
ハリマ化成	45,000	526.00	23,670,000	
花王	302,600	2,081.00	629,710,600	
三洋化成工業	40,000	614.00	24,560,000	
日本ペイント	89,000	550.00	48,950,000	

関西ペイント	124,000	718.00	89,032,000	
中国塗料	35,000	683.00	23,905,000	
太陽ホールディングス	11,100	2,661.00	29,537,100	
D I C	426,000	187.00	79,662,000	
東洋インキ製造	101,000	405.00	40,905,000	
富士フイルムホールディングス	237,400	2,542.00	603,470,800	
資生堂	184,100	1,520.00	279,832,000	
ライオン	119,000	419.00	49,861,000	
高砂香料工業	55,000	430.00	23,650,000	
マンダム	14,300	2,049.00	29,300,700	
ファンケル	28,100	1,184.00	33,270,400	
コーセー	19,300	2,125.00	41,012,500	
ドクターシーラボ	66	312,000.00	20,592,000	
エステー	18,900	891.00	16,839,900	
長谷川香料	17,800	1,202.00	21,395,600	
小林製薬	14,600	3,740.00	54,604,000	
荒川化学工業	25,600	780.00	19,968,000	
メック	17,700	385.00	6,814,500	
荏原ユージライト	3,400	2,403.00	8,170,200	
アース製薬	9,600	2,677.00	25,699,200	
イハラケミカル工業	50,000	272.00	13,600,000	
大成ラミック	9,100	2,438.00	22,185,800	
クミアイ化学工業	21,000	238.00	4,998,000	
日本農薬	19,000	362.00	6,878,000	
日東電工	93,100	4,480.00	417,088,000	
レック	10,300	1,284.00	13,225,200	
アロン化成	36,000	483.00	17,388,000	
前澤化成工業	21,900	777.00	17,016,300	
エフピコ	6,400	4,225.00	27,040,000	
天馬	23,700	792.00	18,770,400	
信越ポリマー	32,500	462.00	15,015,000	
ニフコ	22,500	2,050.00	46,125,000	
日本バルカー工業	33,000	225.00	7,425,000	
ユニ・チャーム	62,100	3,040.00	188,784,000	
協和発酵キリン	135,000	746.00	100,710,000	
武田薬品工業	418,100	3,900.00	1,630,590,000	
アステラス製薬	247,500	3,010.00	744,975,000	
大日本住友製薬	75,700	691.00	52,308,700	
塩野義製薬	166,500	1,392.00	231,768,000	
田辺三菱製薬	96,000	1,284.00	123,264,000	
あすか製薬	24,000	682.00	16,368,000	
日本新薬	25,000	998.00	24,950,000	
中外製薬	111,100	1,415.00	157,206,500	
科研製薬	50,000	978.00	48,900,000	
エーザイ	136,600	3,035.00	414,581,000	

ロート製薬	49,000	840.00	41,160,000	
小野薬品工業	56,200	4,115.00	231,263,000	
久光製薬	31,600	3,170.00	100,172,000	
持田製薬	46,000	940.00	43,240,000	
大正製薬	88,000	1,730.00	152,240,000	
参天製薬	33,700	3,085.00	103,964,500	
日本ケミファ	46,000	261.00	12,006,000	
ツムラ	30,000	2,430.00	72,900,000	
日医工	11,000	2,068.00	22,748,000	
キッセイ薬品工業	20,000	1,500.00	30,000,000	
生化学工業	23,600	844.00	19,918,400	
鳥居薬品	7,300	1,596.00	11,650,800	
東和薬品	6,400	4,175.00	26,720,000	
沢井製薬	7,500	7,160.00	53,700,000	
ゼリア新薬工業	20,000	972.00	19,440,000	
第一三共	377,500	1,585.00	598,337,500	
キョーリン製薬ホールディングス	29,000	1,407.00	40,803,000	
大塚ホールディングス	194,100	2,000.00	388,200,000	
昭和シェル石油	94,900	761.00	72,218,900	
コスモ石油	312,000	251.00	78,312,000	
ニチレキ	32,000	386.00	12,352,000	
東燃ゼネラル石油	168,000	988.00	165,984,000	
AOCホールディングス	32,700	568.00	18,573,600	
出光興産	13,700	9,450.00	129,465,000	
JXホールディングス	1,250,700	576.00	720,403,200	
横浜ゴム	142,000	395.00	56,090,000	
東洋ゴム工業	136,000	206.00	28,016,000	
ブリヂストン	352,400	1,730.00	609,652,000	
住友ゴム工業	85,700	837.00	71,730,900	
オカモト	76,000	312.00	23,712,000	
ニッタ	13,400	1,506.00	20,180,400	
東海ゴム工業	28,500	989.00	28,186,500	
三ツ星ベルト	29,000	443.00	12,847,000	
バンドー化学	37,000	371.00	13,727,000	
日東紡績	90,000	192.00	17,280,000	
旭硝子	555,000	1,051.00	583,305,000	
日本板硝子	494,000	227.00	112,138,000	
日本山村硝子	108,000	222.00	23,976,000	
日本電気硝子	237,000	1,184.00	280,608,000	
住友大阪セメント	204,000	250.00	51,000,000	
太平洋セメント	492,000	148.00	72,816,000	
日本ヒューム	51,000	382.00	19,482,000	
東海カーボン	120,000	400.00	48,000,000	
日本カーボン	120,000	201.00	24,120,000	
東洋炭素	5,600	4,050.00	22,680,000	

ノリタケカンパニーリミテド	67,000	332.00	22,244,000	
TOTO	160,000	673.00	107,680,000	
日本碍子	135,000	1,373.00	185,355,000	
日本特殊陶業	100,000	1,077.00	107,700,000	
MARUWA	1,600	2,614.00	4,182,400	
ニチアス	60,000	498.00	29,880,000	
ニチハ	11,700	805.00	9,418,500	
新日本製鐵	2,921,000	271.00	791,591,000	
住友金属工業	2,050,000	180.00	369,000,000	
神戸製鋼所	1,583,000	213.00	337,179,000	
日新製鋼	429,000	156.00	66,924,000	
合同製鐵	167,000	174.00	29,058,000	
ジェイ エフ イー ホールディングス	266,000	2,489.00	662,074,000	
東京製鐵	66,700	909.00	60,630,300	
共英製鋼	18,900	1,470.00	27,783,000	
大和工業	26,400	2,641.00	69,722,400	
大阪製鐵	17,100	1,431.00	24,470,100	
淀川製鋼所	100,000	360.00	36,000,000	
東洋鋼鈑	34,000	424.00	14,416,000	
住友鋼管	15,600	618.00	9,640,800	
丸一鋼管	34,700	1,979.00	68,671,300	
大同特殊鋼	190,000	469.00	89,110,000	
日本冶金工業	98,500	191.00	18,813,500	
山陽特殊製鋼	57,000	435.00	24,795,000	
愛知製鋼	54,000	500.00	27,000,000	
日立金属	71,000	1,060.00	75,260,000	
大平洋金属	81,000	631.00	51,111,000	
日本電工	50,000	478.00	23,900,000	
三菱製鋼	57,000	259.00	14,763,000	
シンニッタン	35,600	355.00	12,638,000	
日本軽金属	284,000	147.00	41,748,000	
三井金属鉱業	342,000	280.00	95,760,000	
東邦亜鉛	75,000	381.00	28,575,000	
三菱マテリアル	716,000	271.00	194,036,000	
住友金属鉱山	311,000	1,374.00	427,314,000	
DOWAホールディングス	141,000	487.00	68,667,000	
古河機械金属	371,000	82.00	30,422,000	
大阪チタニウムテクノロジーズ	13,200	5,530.00	72,996,000	
東邦チタニウム	21,800	2,107.00	45,932,600	
古河電気工業	352,000	325.00	114,400,000	
住友電気工業	397,200	1,121.00	445,261,200	
フジクラ	181,000	353.00	63,893,000	
タツタ電線	37,000	347.00	12,839,000	
日立電線	118,000	201.00	23,718,000	
リョービ	55,000	318.00	17,490,000	

アサヒホールディングス	16,100	1,578.00	25,405,800	
トーカロ	5,200	1,429.00	7,430,800	
SUMCO	70,400	1,476.00	103,910,400	
東洋製罐	80,000	1,259.00	100,720,000	
コロナ	15,800	778.00	12,292,400	
横河ブリッジホールディングス	50,000	605.00	30,250,000	
駒井ハルテック	44,000	229.00	10,076,000	
三和ホールディングス	119,000	282.00	33,558,000	
文化シャッター	43,000	213.00	9,159,000	
住生活グループ	136,500	2,102.00	286,923,000	
ノーリツ	27,200	1,363.00	37,073,600	
長府製作所	17,300	1,901.00	32,887,300	
リンナイ	17,600	5,180.00	91,168,000	
日東精工	45,000	237.00	10,665,000	
東プレ	27,800	624.00	17,347,200	
高周波熱錬	15,400	664.00	10,225,600	
東京製綱	58,000	266.00	15,428,000	
バイオラックス	5,400	1,905.00	10,287,000	
日本発條	79,000	836.00	66,044,000	
三益半導体工業	26,800	820.00	21,976,000	
日本製鋼所	171,000	640.00	109,440,000	
日立ツール	21,500	845.00	18,167,500	
三浦工業	15,600	2,386.00	37,221,600	
タクマ	31,000	236.00	7,316,000	
ツガミ	38,000	563.00	21,394,000	
オークマ	71,000	705.00	50,055,000	
東芝機械	59,000	452.00	26,668,000	
アマダ	159,000	663.00	105,417,000	
アイダエンジニアリング	32,800	362.00	11,873,600	
牧野フライス製作所	53,000	694.00	36,782,000	
オーエスジー	51,500	1,127.00	58,040,500	
旭ダイヤモンド工業	26,000	1,448.00	37,648,000	
森精機製作所	58,600	976.00	57,193,600	
ディスコ	12,300	5,370.00	66,051,000	
日東工器	7,000	2,034.00	14,238,000	
島精機製作所	13,300	1,916.00	25,482,800	
日阪製作所	12,000	918.00	11,016,000	
ナプテスコ	40,700	1,970.00	80,179,000	
レオン自動機	73,000	188.00	13,724,000	
S M C	34,000	13,720.00	466,480,000	
新川	19,000	842.00	15,998,000	
ユニオンツール	8,800	1,820.00	16,016,000	
オイレス工業	18,000	1,691.00	30,438,000	
サトー	13,500	1,010.00	13,635,000	
小松製作所	532,500	2,631.00	1,401,007,500	

住友重機械工業	299,000	526.00	157,274,000	
日立建機	49,000	2,051.00	100,499,000	
巴工業	11,500	1,447.00	16,640,500	
井関農機	148,000	196.00	29,008,000	
クボタ	471,000	820.00	386,220,000	
月島機械	22,000	740.00	16,280,000	
帝国電機製作所	9,600	1,560.00	14,976,000	
新東工業	25,600	775.00	19,840,000	
澁谷工業	27,800	786.00	21,850,800	
小森コーポレーション	37,800	740.00	27,972,000	
住友精密工業	15,000	560.00	8,400,000	
荏原製作所	205,000	423.00	86,715,000	
西島製作所	17,100	1,201.00	20,537,100	
ダイキン工業	116,600	2,476.00	288,701,600	
オルガノ	24,000	535.00	12,840,000	
栗田工業	61,000	2,303.00	140,483,000	
椿本チエイン	66,000	442.00	29,172,000	
ダイフク	54,000	597.00	32,238,000	
タダノ	68,000	501.00	34,068,000	
フジテック	36,000	419.00	15,084,000	
シーケーディ	33,100	811.00	26,844,100	
平和	23,600	1,338.00	31,576,800	
SANKYO	31,700	4,400.00	139,480,000	
日本金銭機械	14,000	699.00	9,786,000	
福島工業	17,300	940.00	16,262,000	
アマノ	27,000	729.00	19,683,000	
サンデン	88,000	354.00	31,152,000	
マックス	20,000	1,051.00	21,020,000	
グローリー	29,100	1,725.00	50,197,500	
大和冷機工業	38,000	395.00	15,010,000	
セガサミーホールディングス	109,800	1,587.00	174,252,600	
リケン	62,000	345.00	21,390,000	
ホシザキ電機	22,500	1,476.00	33,210,000	
大豊工業	24,900	712.00	17,728,800	
日本精工	240,000	714.00	171,360,000	
NTN	259,000	405.00	104,895,000	
ジェイテクト	113,300	1,039.00	117,718,700	
不二越	93,000	437.00	40,641,000	
日本トムソン	43,000	625.00	26,875,000	
THK	72,100	2,040.00	147,084,000	
ユーシン精機	10,000	1,456.00	14,560,000	
キッツ	63,000	359.00	22,617,000	
日立工機	40,000	720.00	28,800,000	
マキタ	70,800	3,545.00	250,986,000	
日立造船	412,000	112.00	46,144,000	

三菱重工業	1,802,000	347.00	625,294,000	
I H I	733,000	183.00	134,139,000	
イビデン	65,000	2,625.00	170,625,000	
コニカミノルタホールディングス	292,500	663.00	193,927,500	
ブラザー工業	140,500	1,198.00	168,319,000	
ミネベア	168,000	437.00	73,416,000	
日立製作所	2,411,000	438.00	1,056,018,000	
東芝	2,111,000	406.00	857,066,000	
三菱電機	1,075,000	943.00	1,013,725,000	
富士電機ホールディングス	318,000	246.00	78,228,000	
東洋電機製造	13,000	400.00	5,200,000	
安川電機	114,000	944.00	107,616,000	
明電舎	108,000	324.00	34,992,000	
東芝テック	81,000	344.00	27,864,000	
マブチモーター	14,500	3,850.00	55,825,000	
日本電産	52,500	7,200.00	378,000,000	
高岳製作所	72,000	393.00	28,296,000	
ダイヘン	60,000	339.00	20,340,000	
オムロン	118,300	2,300.00	272,090,000	
日東工業	17,000	833.00	14,161,000	
エルピーダメモリ	94,800	1,043.00	98,876,400	
ジーエス・ユアサ コーポレーション	212,000	522.00	110,664,000	
メルコホールディングス	5,600	2,595.00	14,532,000	
日本電気	1,388,000	193.00	267,884,000	
富士通	1,036,000	501.00	519,036,000	
沖電気工業	362,000	63.00	22,806,000	
サンケン電気	58,000	491.00	28,478,000	
アイホン	16,200	1,380.00	22,356,000	
ルネサスエレクトロニクス	35,700	686.00	24,490,200	
セイコーエプソン	73,500	1,288.00	94,668,000	
ワコム	254	106,600.00	27,076,400	
アルバック	18,400	1,742.00	32,052,800	
ナナオ	12,900	1,909.00	24,626,100	
日本信号	47,200	621.00	29,311,200	
能美防災	29,000	512.00	14,848,000	
ホーチキ	34,000	403.00	13,702,000	
マスプロ電工	30,000	843.00	25,290,000	
パナソニック	1,055,000	1,005.00	1,060,275,000	
シャープ	474,000	786.00	372,564,000	
アンリツ	49,000	619.00	30,331,000	
富士通ゼネラル	65,000	405.00	26,325,000	
日立国際電気	36,000	685.00	24,660,000	
ソニー	600,300	2,600.00	1,560,780,000	
T D K	61,200	4,840.00	296,208,000	
三洋電機	819,000	115.00	94,185,000	

ミツミ電機	38,500	1,053.00	40,540,500
タムラ製作所	45,000	217.00	9,765,000
アルプス電気	83,100	809.00	67,227,900
パイオニア	100,000	380.00	38,000,000
日本電波工業	7,700	1,266.00	9,748,200
日本トリム	5,250	1,661.00	8,720,250
フォスター電機	11,100	1,868.00	20,734,800
S M K	30,000	371.00	11,130,000
ヨコオ	15,400	599.00	9,224,600
ホシデン	27,500	776.00	21,340,000
ヒロセ電機	16,900	8,930.00	150,917,000
日本航空電子工業	31,000	572.00	17,732,000
アルパイン	30,000	919.00	27,570,000
アイコム	6,700	2,266.00	15,182,200
船井電機	10,800	2,373.00	25,628,400
横河電機	108,500	631.00	68,463,500
山武	27,300	1,948.00	53,180,400
日本光電工業	17,300	1,764.00	30,517,200
堀場製作所	18,300	2,410.00	44,103,000
アドバンテスト	74,000	1,449.00	107,226,000
キーエンス	24,200	20,970.00	507,474,000
日置電機	13,200	1,556.00	20,539,200
シスメックス	19,400	5,360.00	103,984,000
メガチップス	16,400	1,345.00	22,058,000
日本電産コパル電子	20,400	587.00	11,974,800
ミヤチテクノス	10,100	719.00	7,261,900
コーセル	16,400	1,191.00	19,532,400
オプテックス	10,200	1,050.00	10,710,000
千代田インテグレ	6,400	1,133.00	7,251,200
スタンレー電気	69,200	1,395.00	96,534,000
ウシオ電機	64,900	1,568.00	101,763,200
ヘリオス テクノ ホールディング	27,400	223.00	6,110,200
日本セラミック	9,300	1,713.00	15,930,900
日本デジタル研究所	10,000	942.00	9,420,000
双信電機	14,900	423.00	6,302,700
図研	31,000	698.00	21,638,000
日本電子	59,000	237.00	13,983,000
カシオ計算機	107,500	643.00	69,122,500
ファナック	111,800	12,150.00	1,358,370,000
日本シイエムケイ	31,000	335.00	10,385,000
エンプラス	10,300	1,049.00	10,804,700
ローム	53,400	5,170.00	276,078,000
浜松ホトニクス	42,200	3,125.00	131,875,000
三井ハイテック	18,600	405.00	7,533,000
新光電気工業	33,300	848.00	28,238,400



京セラ	88,600	7,820.00	692,852,000	
太陽誘電	48,000	1,043.00	50,064,000	
村田製作所	112,800	5,640.00	636,192,000	
双葉電子工業	20,400	1,510.00	30,804,000	
北陸電気工業	69,000	171.00	11,799,000	
パナソニック電工	98,000	918.00	89,964,000	
ニチコン	36,100	1,172.00	42,309,200	
日本ケミコン	71,000	407.00	28,897,000	
K O A	13,200	897.00	11,840,400	
小糸製作所	51,000	1,277.00	65,127,000	
スター精密	22,500	892.00	20,070,000	
大日本スクリーン製造	119,000	773.00	91,987,000	
キヤノン電子	11,400	2,251.00	25,661,400	
キヤノン	664,700	3,635.00	2,416,184,500	
リコー	326,000	954.00	311,004,000	
日本電産サンキョー	26,000	587.00	15,262,000	
東京エレクトロン	84,500	4,670.00	394,615,000	
トヨタ紡織	35,500	1,196.00	42,458,000	
ユニプレス	18,200	1,675.00	30,485,000	
豊田自動織機	97,000	2,517.00	244,149,000	
モリタホールディングス	41,000	527.00	21,607,000	
デンソー	236,200	2,667.00	629,945,400	
東海理化電機製作所	27,100	1,346.00	36,476,600	
三井造船	410,000	200.00	82,000,000	
佐世保重工業	90,000	169.00	15,210,000	
川崎重工業	842,000	326.00	274,492,000	
日本車輛製造	66,000	376.00	24,816,000	
近畿車輛	47,000	371.00	17,437,000	
日産自動車	1,356,300	724.00	981,961,200	
いすゞ自動車	633,000	340.00	215,220,000	
トヨタ自動車	1,372,200	3,345.00	4,590,009,000	250,000株
日野自動車	132,000	397.00	52,404,000	
三菱自動車工業	2,208,000	104.00	229,632,000	

[次へ](#)

(単位：円)

銘柄	株式数	評価額		備考
		単価	金額	
武蔵精密工業	11,200	1,899.00	21,268,800	
トヨタ車体	19,900	1,401.00	27,879,900	
日産車体	41,000	587.00	24,067,000	
関東自動車工業	15,400	568.00	8,747,200	
新明和工業	53,000	337.00	17,861,000	
極東開発工業	40,000	395.00	15,800,000	
日信工業	25,600	1,365.00	34,944,000	
トピー工業	144,000	206.00	29,664,000	
ティラド	24,000	368.00	8,832,000	
曙ブレーキ工業	52,500	431.00	22,627,500	
NOK	53,300	1,377.00	73,394,100	
フタバ産業	36,000	483.00	17,388,000	
カヤバ工業	64,000	664.00	42,496,000	
カルソニックカンセイ	66,000	332.00	21,912,000	
ケーヒン	22,400	1,553.00	34,787,200	
アイシン精機	90,000	2,815.00	253,350,000	
マツダ	843,000	191.00	161,013,000	
ダイハツ工業	116,000	1,232.00	142,912,000	
今仙電機製作所	7,000	1,150.00	8,050,000	
本田技研工業	902,300	3,145.00	2,837,733,500	
スズキ	220,900	1,784.00	394,085,600	
富士重工業	342,000	581.00	198,702,000	
ヤマハ発動機	165,200	1,372.00	226,654,400	
ショーワ	32,900	604.00	19,871,600	
エクセディ	15,200	2,385.00	36,252,000	
豊田合成	33,600	1,647.00	55,339,200	
愛三工業	17,100	892.00	15,253,200	
ヨロズ	9,600	1,591.00	15,273,600	
エフ・シー・シー	17,800	1,864.00	33,179,200	
シマノ	42,200	3,900.00	164,580,000	
タカタ	16,400	2,420.00	39,688,000	
テイ・エス テック	20,100	1,404.00	28,220,400	
テルモ	85,400	4,280.00	365,512,000	
クリエートメディック	17,800	797.00	14,186,600	
日機装	35,000	633.00	22,155,000	
島津製作所	125,000	694.00	86,750,000	
東京精密	25,500	1,404.00	35,802,000	
ニコン	189,100	1,660.00	313,906,000	
トプコン	36,400	405.00	14,742,000	
オリンパス	129,000	2,303.00	297,087,000	
理研計器	39,200	631.00	24,735,200	

タムロン	16,100	1,780.00	28,658,000	
HOYA	245,400	1,880.00	461,352,000	
ノーリツ鋼機	19,300	453.00	8,742,900	
日本電産コパル	11,000	1,000.00	11,000,000	
シチズンホールディングス	117,000	460.00	53,820,000	
ニプロ	18,700	1,627.00	30,424,900	
バンダイナムコホールディングス	123,700	917.00	113,432,900	
トッパン・フォームズ	31,600	707.00	22,341,200	
フジシールインターナショナル	17,100	1,582.00	27,052,200	
タカラトミー	34,000	637.00	21,658,000	
タカノ	20,500	476.00	9,758,000	
大建工業	40,000	253.00	10,120,000	
凸版印刷	304,000	643.00	195,472,000	
大日本印刷	320,000	960.00	307,200,000	
日本写真印刷	19,300	1,785.00	34,450,500	
アシックス	98,000	1,106.00	108,388,000	
ローランド	15,200	902.00	13,710,400	
小松ウオール工業	15,100	819.00	12,366,900	
ヤマハ	88,900	922.00	81,965,800	
クリナップ	18,400	584.00	10,745,600	
ビジョン	10,500	2,539.00	26,659,500	
パラマウントベッド	15,900	2,149.00	34,169,100	
キングジム	29,700	589.00	17,493,300	
リンテック	22,800	2,230.00	50,844,000	
イトーキ	79,100	190.00	15,029,000	
任天堂	61,200	22,490.00	1,376,388,000	
三菱鉛筆	5,700	1,223.00	6,971,100	
タカラスタンダード	54,000	578.00	31,212,000	
コクヨ	62,600	619.00	38,749,400	
岡村製作所	36,000	451.00	16,236,000	
美津濃	67,000	338.00	22,646,000	
ユニハアー	20,400	915.00	18,666,000	
東京電力	784,500	1,098.00	861,381,000	
中部電力	327,100	2,042.00	667,938,200	
関西電力	434,000	2,003.00	869,302,000	
中国電力	147,400	1,708.00	251,759,200	
北陸電力	107,200	2,040.00	218,688,000	
東北電力	266,600	1,630.00	434,558,000	
四国電力	106,500	2,468.00	262,842,000	
九州電力	235,200	1,774.00	417,244,800	
北海道電力	98,000	1,712.00	167,776,000	
沖縄電力	8,100	3,865.00	31,306,500	
電源開発	65,000	2,619.00	170,235,000	
東京瓦斯	1,331,000	361.00	480,491,000	
大阪瓦斯	1,074,000	308.00	330,792,000	

東邦瓦斯	270,000	425.00	114,750,000	
北海道瓦斯	86,000	241.00	20,726,000	
西部瓦斯	134,000	208.00	27,872,000	
静岡瓦斯	50,500	450.00	22,725,000	
東武鉄道	545,000	334.00	182,030,000	
相鉄ホールディングス	169,000	241.00	40,729,000	
東京急行電鉄	575,000	346.00	198,950,000	
京浜急行電鉄	272,000	596.00	162,112,000	
小田急電鉄	341,000	702.00	239,382,000	
京王電鉄	276,000	489.00	134,964,000	
京成電鉄	166,000	482.00	80,012,000	
東日本旅客鉄道	185,300	4,870.00	902,411,000	
西日本旅客鉄道	996	318,500.00	317,226,000	
東海旅客鉄道	923	672,000.00	620,256,000	
西日本鉄道	129,000	355.00	45,795,000	
近畿日本鉄道	948,000	275.00	260,700,000	
阪急阪神ホールディングス	716,000	379.00	271,364,000	
南海電気鉄道	212,000	335.00	71,020,000	
京阪電気鉄道	230,000	344.00	79,120,000	
名糖運輸	20,200	671.00	13,554,200	
名古屋鉄道	373,000	219.00	81,687,000	
日本通運	408,000	312.00	127,296,000	
ヤマトホールディングス	219,500	1,247.00	273,716,500	
山九	143,000	363.00	51,909,000	
丸運	29,300	203.00	5,947,900	
センコー	25,000	252.00	6,300,000	
トナミホールディングス	75,000	143.00	10,725,000	
日本梱包運輸倉庫	32,000	896.00	28,672,000	
日本石油輸送	65,000	228.00	14,820,000	
福山通運	59,000	396.00	23,364,000	
セイノーホールディングス	76,000	585.00	44,460,000	
日立物流	24,900	1,155.00	28,759,500	
日本郵船	914,000	328.00	299,792,000	
商船三井	530,000	492.00	260,760,000	
川崎汽船	342,000	319.00	109,098,000	
N S ユナイテッド海運	90,000	179.00	16,110,000	
飯野海運	65,400	429.00	28,056,600	
第一中央汽船	78,000	170.00	13,260,000	
全日本空輸	1,409,000	266.00	374,794,000	
三菱倉庫	78,000	907.00	70,746,000	
三井倉庫	49,000	305.00	14,945,000	
住友倉庫	78,000	387.00	30,186,000	
東陽倉庫	68,000	178.00	12,104,000	
安田倉庫	16,500	470.00	7,755,000	
上組	118,000	698.00	82,364,000	

キムラユニティー	10,000	699.00	6,990,000	
キューソー流通システム	14,300	819.00	11,711,700	
郵船ロジスティクス	12,500	1,241.00	15,512,500	
近鉄エクスプレス	10,700	2,440.00	26,108,000	
新日鉄ソリューションズ	8,400	1,591.00	13,364,400	
ITホールディングス	38,500	839.00	32,301,500	
グリーン	20,000	1,318.00	26,360,000	
コーエーテクモホールディングス	29,700	683.00	20,285,100	
ドワンゴ	83	212,000.00	17,596,000	
マクロミル	12,600	1,057.00	13,318,200	
ティーガイア	153	139,900.00	21,404,700	
ザッパラス	70	97,500.00	6,825,000	
インターネットイニシアティブ	88	238,500.00	20,988,000	
パナソニック電工インフォメーションシステムズ	10,500	1,987.00	20,863,500	
野村総合研究所	60,900	1,784.00	108,645,600	
シンプレクス・ホールディングス	323	35,100.00	11,337,300	
フジ・メディア・ホールディングス	1,059	121,300.00	128,456,700	
オービック	3,660	15,740.00	57,608,400	
ヤフー	7,523	29,690.00	223,357,870	
トレンドマイクロ	47,000	2,282.00	107,254,000	
日本オラクル	15,400	3,545.00	54,593,000	
フューチャーアーキテクト	289	33,850.00	9,782,650	
ソフトバンク・テクノロジー	14,600	617.00	9,008,200	
伊藤忠テクノソリューションズ	16,400	2,608.00	42,771,200	
大塚商会	7,500	5,370.00	40,275,000	
サイボウズ	392	18,650.00	7,310,800	
電通国際情報サービス	28,900	569.00	16,444,100	
ウェザーニューズ	13,900	1,676.00	23,296,400	
ネットワンシステムズ	287	114,300.00	32,804,100	
エイベックス・グループ・ホールディングス	20,000	1,026.00	20,520,000	
日本ユニシス	33,500	543.00	18,190,500	
兼松エレクトロニクス	26,400	829.00	21,885,600	
東京放送ホールディングス	55,400	994.00	55,067,600	
日本テレビ放送網	9,350	12,440.00	116,314,000	
テレビ朝日	273	139,300.00	38,028,900	
スカパーJ S A Tホールディングス	1,036	28,920.00	29,961,120	
テレビ東京ホールディングス	5,000	1,146.00	5,730,000	
イー・アクセス	676	47,200.00	31,907,200	
NECモバイルリング	10,800	2,482.00	26,805,600	
日本電信電話	394,900	3,780.00	1,492,722,000	
KDDI	1,627	510,000.00	829,770,000	
光通信	14,100	1,699.00	23,955,900	
エヌ・ティ・ティ・ドコモ	8,689	147,200.00	1,279,020,800	
ゼンリン	34,200	869.00	29,719,800	

角川グループホールディングス	11,100	1,861.00	20,657,100	
松竹	56,000	575.00	32,200,000	
東宝	68,200	1,186.00	80,885,200	
東映	46,000	377.00	17,342,000	
エヌ・ティ・ティ・データ	726	254,700.00	184,912,200	
D T S	13,800	864.00	11,923,200	
スクウェア・エニックス・ホールディングス	33,600	1,410.00	47,376,000	
カプコン	26,600	1,512.00	40,219,200	
住商情報システム	16,900	1,190.00	20,111,000	
アイネス	26,400	543.00	14,335,200	
T K C	8,600	1,635.00	14,061,000	
富士ソフト	15,000	1,255.00	18,825,000	
N S D	25,500	848.00	21,624,000	
コナミ	48,700	1,581.00	76,994,700	
ソフトバンク	468,600	3,025.00	1,417,515,000	
伊藤忠食品	7,800	2,620.00	20,436,000	
エレマテック	14,300	1,052.00	15,043,600	
J A L U X	11,400	825.00	9,405,000	
双日	706,200	164.00	115,816,800	
アルフレッサ ホールディングス	28,900	3,065.00	88,578,500	
横浜冷凍	48,000	560.00	26,880,000	
あい ホールディングス	52,400	329.00	17,239,600	
U K Cホールディングス	8,700	1,000.00	8,700,000	
J F E 商事ホールディングス	86,000	352.00	30,272,000	
エコートレーディング	9,300	694.00	6,454,200	
ナガイレーベン	11,400	2,005.00	22,857,000	
菱食	15,200	1,718.00	26,113,600	
松田産業	18,700	1,208.00	22,589,600	
メディカルホールディングス	95,700	702.00	67,181,400	
アドヴァン	10,200	633.00	6,456,600	
ドウシシャ	13,500	1,639.00	22,126,500	
黒田電気	26,900	999.00	26,873,100	
ガリバーインターナショナル	4,520	2,951.00	13,338,520	
進和	12,200	875.00	10,675,000	
オーハシテクニカ	28,500	597.00	17,014,500	
マクニカ	8,000	1,887.00	15,096,000	
白銅	4,700	864.00	4,060,800	
伊藤忠商事	741,000	825.00	611,325,000	
丸紅	929,000	580.00	538,820,000	
長瀬産業	60,000	940.00	56,400,000	
豊田通商	119,500	1,326.00	158,457,000	
兼松	347,000	79.00	27,413,000	
三井物産	911,100	1,411.00	1,285,562,100	
日本紙パルプ商事	104,000	301.00	31,304,000	
日立ハイテクノロジーズ	32,900	1,662.00	54,679,800	

山善	51,500	446.00	22,969,000	
住友商事	583,100	1,142.00	665,900,200	
内田洋行	39,000	256.00	9,984,000	
三菱商事	845,400	2,201.00	1,860,725,400	
キヤノンマーケティングジャパン	30,700	976.00	29,963,200	
西華産業	110,000	210.00	23,100,000	
菱洋エレクトロ	17,000	844.00	14,348,000	
東京産業	65,500	258.00	16,899,000	
阪和興業	112,000	357.00	39,984,000	
菱電商事	31,000	524.00	16,244,000	
岩谷産業	125,000	258.00	32,250,000	
すてきなイスグループ	57,000	184.00	10,488,000	
イワキ	78,000	183.00	14,274,000	
三愛石油	37,000	406.00	15,022,000	
稲畑産業	28,500	502.00	14,307,000	
東邦ホールディングス	30,000	892.00	26,760,000	
サンゲツ	18,600	1,887.00	35,098,200	
シナネン	51,000	377.00	19,227,000	
伊藤忠エネクス	19,000	455.00	8,645,000	
サンリオ	31,000	2,498.00	77,438,000	
リョーサン	15,100	1,959.00	29,580,900	
モスフードサービス	18,600	1,535.00	28,551,000	
加賀電子	23,500	902.00	21,197,000	
立花エレテック	29,100	684.00	19,904,400	
トラスコ中山	16,900	1,407.00	23,778,300	
オートバックスセブン	13,500	3,130.00	42,255,000	
加藤産業	21,300	1,352.00	28,797,600	
富士エレクトロニクス	10,500	1,208.00	12,684,000	
杉本商事	18,600	742.00	13,801,200	
因幡電機産業	10,200	2,361.00	24,082,200	
ミスミグループ本社	35,700	1,927.00	68,793,900	
スズケン	45,700	2,161.00	98,757,700	
ジェコス	36,500	391.00	14,271,500	
ローソン	36,100	3,860.00	139,346,000	
エービーシー・マート	10,900	3,045.00	33,190,500	
ハードオフコーポレーション	25,000	441.00	11,025,000	
アスクル	17,600	1,236.00	21,753,600	
ゲオ	333	91,700.00	30,536,100	
ポイント	9,640	3,535.00	34,077,400	
エディオン	45,500	719.00	32,714,500	
バルス	114	82,800.00	9,439,200	
あみやき亭	63	263,500.00	16,600,500	
ハニーズ	6,420	928.00	5,957,760	
D C Mホールディングス	71,500	464.00	33,176,000	
J . フロント リテイリング	237,000	336.00	79,632,000	

ドトール・日レスホールディングス	26,200	981.00	25,702,200	
マツモトキヨシホールディングス	16,700	1,570.00	26,219,000	
三越伊勢丹ホールディングス	204,600	788.00	161,224,800	
ブックオフコーポレーション	15,800	603.00	9,527,400	
あさひ	10,500	1,361.00	14,290,500	
サークルKサンクス	19,400	1,238.00	24,017,200	
セブン&アイ・ホールディングス	439,000	2,048.00	899,072,000	
ツルハホールディングス	9,200	3,570.00	32,844,000	
サンマルクホールディングス	2,000	3,420.00	6,840,000	
ライトオン	24,900	407.00	10,134,300	
良品計画	13,000	3,410.00	44,330,000	
三城ホールディングス	21,600	742.00	16,027,200	
ワタミ	20,300	1,445.00	29,333,500	
ドン・キホーテ	17,500	2,749.00	48,107,500	
西松屋チェーン	44,300	652.00	28,883,600	
ゼンショー	40,700	861.00	35,042,700	
サイゼリヤ	17,300	1,331.00	23,026,300	
ユナイテッドアローズ	21,300	1,194.00	25,432,200	
京都きもの友禅	20,100	930.00	18,693,000	
壱番屋	5,200	2,328.00	12,105,600	
スギホールディングス	18,100	1,850.00	33,485,000	
ファミリーマート	34,800	2,974.00	103,495,200	
木曽路	18,400	1,737.00	31,960,800	
千趣会	37,000	464.00	17,168,000	
ケーヨー	43,100	400.00	17,240,000	
上新電機	28,000	814.00	22,792,000	
ベスト電器	35,000	214.00	7,490,000	
マルエツ	48,000	298.00	14,304,000	
島忠	22,100	1,762.00	38,940,200	
チヨダ	23,600	1,081.00	25,511,600	
ライフコーポレーション	1,900	1,080.00	2,052,000	
カスミ	40,000	424.00	16,960,000	
AOKIホールディングス	7,800	1,254.00	9,781,200	
オークワ	25,000	786.00	19,650,000	
コメリ	16,100	1,969.00	31,700,900	
青山商事	28,900	1,190.00	34,391,000	
しまむら	10,600	7,030.00	74,518,000	
高島屋	135,000	551.00	74,385,000	
松屋	22,000	478.00	10,516,000	
エイチ・ツー・オー リテイリング	59,000	540.00	31,860,000	
ニッセンホールディングス	20,300	480.00	9,744,000	
パルコ	35,100	688.00	24,148,800	
丸井グループ	136,600	572.00	78,135,200	
ダイエー	79,850	282.00	22,517,700	
イズミヤ	48,000	347.00	16,656,000	



イオン	375,200	931.00	349,311,200	
ユニー	92,400	659.00	60,891,600	
イズミ	31,200	1,077.00	33,602,400	
平和堂	23,700	949.00	22,491,300	
フジ	17,300	1,604.00	27,749,200	
ヤオコー	7,900	2,445.00	19,315,500	
ゼビオ	20,600	1,517.00	31,250,200	
ケーズホールディングス	25,500	2,400.00	61,200,000	
ヤマダ電機	47,970	5,700.00	273,429,000	
ニトリホールディングス	20,600	6,960.00	143,376,000	
吉野家ホールディングス	252	97,800.00	24,645,600	
ブレナス	20,800	1,283.00	26,686,400	
アークス	22,900	1,225.00	28,052,500	
パロー	29,400	787.00	23,137,800	
ファーストリテイリング	25,100	10,700.00	268,570,000	
サンドラッグ	18,900	2,195.00	41,485,500	
ベルーナ	37,150	526.00	19,540,900	
新生銀行	556,000	109.00	60,604,000	
あおぞら銀行	362,000	184.00	66,608,000	
三菱UFJフィナンシャル・グループ	7,973,600	405.00	3,229,308,000	
りそなホールディングス	665,500	395.00	262,872,500	
中央三井トラスト・ホールディングス	591,000	311.00	183,801,000	
三井住友フィナンシャルグループ	797,900	2,715.00	2,166,298,500	
第四銀行	125,000	267.00	33,375,000	
北越銀行	130,000	190.00	24,700,000	
西日本シティ銀行	365,000	239.00	87,235,000	
札幌北洋ホールディングス	158,100	384.00	60,710,400	
千葉銀行	417,000	479.00	199,743,000	
横浜銀行	729,000	394.00	287,226,000	
常陽銀行	408,000	337.00	137,496,000	
群馬銀行	247,000	446.00	110,162,000	
武蔵野銀行	18,400	2,704.00	49,753,600	
千葉興業銀行	23,800	472.00	11,233,600	
東京都民銀行	17,100	1,202.00	20,554,200	
七十七銀行	177,000	404.00	71,508,000	
青森銀行	104,000	255.00	26,520,000	
秋田銀行	80,000	261.00	20,880,000	
山形銀行	63,000	388.00	24,444,000	
岩手銀行	8,700	3,295.00	28,666,500	
東邦銀行	105,000	215.00	22,575,000	
東北銀行	79,000	121.00	9,559,000	
ふくおかフィナンシャルグループ	424,000	327.00	138,648,000	
静岡銀行	323,000	683.00	220,609,000	
十六銀行	139,000	260.00	36,140,000	
スルガ銀行	113,000	748.00	84,524,000	

八十二銀行	200,000	481.00	96,200,000	
山梨中央銀行	61,000	400.00	24,400,000	
大垣共立銀行	123,000	268.00	32,964,000	
福井銀行	97,000	256.00	24,832,000	
北國銀行	129,000	275.00	35,475,000	
滋賀銀行	91,000	408.00	37,128,000	
南都銀行	96,000	393.00	37,728,000	
百五銀行	87,000	353.00	30,711,000	
京都銀行	187,000	720.00	134,640,000	
三重銀行	66,000	216.00	14,256,000	
ほくほくフィナンシャルグループ	731,000	169.00	123,539,000	
広島銀行	306,000	352.00	107,712,000	
山陰合同銀行	65,000	574.00	37,310,000	
中国銀行	87,000	926.00	80,562,000	
鳥取銀行	77,000	175.00	13,475,000	
伊予銀行	112,000	709.00	79,408,000	
百十四銀行	108,000	300.00	32,400,000	
四国銀行	84,000	270.00	22,680,000	
阿波銀行	83,000	486.00	40,338,000	
鹿児島銀行	66,000	554.00	36,564,000	
大分銀行	82,000	271.00	22,222,000	
宮崎銀行	91,000	192.00	17,472,000	
肥後銀行	82,000	478.00	39,196,000	
佐賀銀行	82,000	231.00	18,942,000	
十八銀行	96,000	226.00	21,696,000	
沖縄銀行	7,300	3,300.00	24,090,000	
琉球銀行	23,800	865.00	20,587,000	
住友信託銀行	952,000	466.00	443,632,000	
みずほ信託銀行	1,054,000	79.00	83,266,000	
八千代銀行	3,500	2,851.00	9,978,500	
みずほフィナンシャルグループ	12,911,300	150.00	1,936,695,000	
紀陽ホールディングス	400,000	117.00	46,800,000	
山口フィナンシャルグループ	105,000	750.00	78,750,000	
長野銀行	80,000	180.00	14,400,000	
名古屋銀行	116,000	257.00	29,812,000	
愛知銀行	3,100	4,850.00	15,035,000	
第三銀行	61,000	191.00	11,651,000	
中京銀行	94,000	182.00	17,108,000	
東日本銀行	52,000	182.00	9,464,000	
愛媛銀行	85,000	230.00	19,550,000	
トマト銀行	101,000	153.00	15,453,000	
京葉銀行	85,000	420.00	35,700,000	
関西アーバン銀行	157,000	140.00	21,980,000	
栃木銀行	43,000	340.00	14,620,000	
北日本銀行	4,500	1,932.00	8,694,000	

トモニホールディングス	30,000	296.00	8,880,000	
フィデアホールディングス	79,000	232.00	18,328,000	
池田泉州ホールディングス	290,300	117.00	33,965,100	
SBIホールディングス	12,754	11,040.00	140,804,160	
ジャフコ	16,700	2,299.00	38,393,300	
大和証券グループ本社	1,053,000	403.00	424,359,000	
野村ホールディングス	2,226,600	463.00	1,030,915,800	
みずほ証券	283,000	229.00	64,807,000	
みずほインベスターズ証券	334,000	79.00	26,386,000	
岡三証券グループ	96,000	328.00	31,488,000	
丸三証券	54,700	393.00	21,497,100	
東海東京フィナンシャル・ホールディングス	129,000	280.00	36,120,000	
いちよし証券	39,500	548.00	21,646,000	
松井証券	60,200	474.00	28,534,800	
だいこう証券ビジネス	17,800	295.00	5,251,000	
マネックスグループ	882	20,050.00	17,684,100	
カブドットコム証券	57,400	299.00	17,162,600	
NKSJホールディングス	888,000	536.00	475,968,000	
MS&ADインシュアランスグループホールディングス	312,300	1,852.00	578,379,600	
ソニーフィナンシャルホールディングス	513	326,000.00	167,238,000	
第一生命保険	4,256	135,000.00	574,560,000	
富士火災海上保険	135,000	144.00	19,440,000	
東京海上ホールディングス	399,800	2,282.00	912,343,600	
T&Dホールディングス	193,900	2,100.00	407,190,000	
クレディセゾン	83,600	1,375.00	114,950,000	
セディナ	122,300	158.00	19,323,400	
芙蓉総合リース	8,800	2,461.00	21,656,800	
興銀リース	15,300	1,877.00	28,718,100	
東京センチュリーリース	24,900	1,297.00	32,295,300	
日本証券金融	50,600	554.00	28,032,400	
リコーリース	11,600	1,925.00	22,330,000	
イオンクレジットサービス	51,500	1,126.00	57,989,000	
アコム	25,310	1,075.00	27,208,250	
プロミス	52,650	638.00	33,590,700	
日立キャピタル	24,600	1,097.00	26,986,200	
オリックス	55,630	8,360.00	465,066,800	
三菱UFJリース	26,460	3,335.00	88,244,100	
日本駐車場開発	3,224	3,555.00	11,461,320	
昭栄	34,200	728.00	24,897,600	
野村不動産ホールディングス	47,600	1,378.00	65,592,800	
ヒューリック	33,500	691.00	23,148,500	
パーク24	45,000	828.00	37,260,000	
三井不動産	502,000	1,501.00	753,502,000	

三菱地所	740,000	1,516.00	1,121,840,000
平和不動産	86,000	196.00	16,856,000
東京建物	228,000	332.00	75,696,000
ダイビル	38,000	666.00	25,308,000
東急不動産	212,000	379.00	80,348,000
京阪神不動産	29,000	390.00	11,310,000
住友不動産	254,000	1,798.00	456,692,000
東宝不動産	37,700	500.00	18,850,000
大京	172,000	131.00	22,532,000
テオーシー	74,600	328.00	24,468,800
東京楽天地	60,000	256.00	15,360,000
空港施設	42,300	344.00	14,551,200
住友不動産販売	4,310	3,515.00	15,149,650
ゴールドクレスト	4,500	1,728.00	7,776,000
日本エスリード	8,600	758.00	6,518,800
東急リバブル	11,900	791.00	9,412,900
サンヨーハウジング名古屋	127	76,800.00	9,753,600
イオンモール	50,100	1,923.00	96,342,300
エヌ・ティ・ティ都市開発	750	74,700.00	56,025,000
日本空港ビルデング	34,900	1,060.00	36,994,000
日本M&Aセンター	15	438,000.00	6,570,000
アコーディア・ゴルフ	396	57,100.00	22,611,600
パソナグループ	421	66,900.00	28,164,900
スタジオアリス	10,600	830.00	8,798,000
シミック	480	25,250.00	12,120,000
NECフィールドディング	11,200	984.00	11,020,800
総合警備保障	42,000	909.00	38,178,000
カカクコム	76	471,000.00	35,796,000
エムスリー	74	483,000.00	35,742,000
ディー・エヌ・エー	43,500	3,010.00	130,935,000
博報堂D Yホールディングス	15,850	4,765.00	75,525,250
ぐるなび	25	105,300.00	2,632,500
P G Mホールディングス	483	45,200.00	21,831,600
イーピーエス	30	183,000.00	5,490,000
ドリームインキュベータ	110	58,700.00	6,457,000
ケネディクス	1,300	19,730.00	25,649,000
電通	103,800	2,280.00	236,664,000
みらかホールディングス	27,200	2,923.00	79,505,600
日本空調サービス	12,000	705.00	8,460,000
オリエンタルランド	30,000	6,860.00	205,800,000
ダスキン	29,100	1,529.00	44,493,900
秀英予備校	14,300	344.00	4,919,200
ラウンドワン	28,300	387.00	10,952,100
リゾートトラスト	19,900	1,150.00	22,885,000
ビー・エム・エル	8,200	2,240.00	18,368,000

もしもしホットライン	13,700	1,638.00	22,440,600	
東急コミュニティー	4,900	2,341.00	11,470,900	
ユー・エス・エス	14,790	6,250.00	92,437,500	
カルチュア・コンビニエンス・クラブ	62,200	569.00	35,391,800	
エイチ・アイ・エス	15,700	1,732.00	27,192,400	
共立メンテナンス	18,500	1,245.00	23,032,500	
建設技術研究所	28,500	474.00	13,509,000	
よみうりランド	55,000	287.00	15,785,000	
東京ドーム	129,000	155.00	19,995,000	
トランス・コスモス	17,800	747.00	13,296,600	
乃村工藝社	41,000	267.00	10,947,000	
日本管財	8,100	1,443.00	11,688,300	
白洋舎	80,000	197.00	15,760,000	
セコム	116,000	3,915.00	454,140,000	
メイテック	15,400	1,677.00	25,825,800	
アサツー ディ・ケイ	18,900	2,260.00	42,714,000	
応用地質	30,200	695.00	20,989,000	
ベネッセホールディングス	34,600	3,490.00	120,754,000	
イオンディライト	13,200	1,404.00	18,532,800	
ニチイ学館	26,800	645.00	17,286,000	
ダイセキ	16,300	1,457.00	23,749,100	
合計	156,893,382		124,424,564,380	

(注) 備考欄の数値は、差入委託証拠金代用有価証券としての担保差入れ株式数です。

(2) 株式以外の有価証券

該当事項はありません。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

「注記表(デリバティブ取引等に関する注記)」に記載しております。

[前へ](#)

## 2【ファンドの現況】

### 【純資産額計算書】

平成23年4月28日現在

種類	金額
資産総額	1,229,835,692 円
負債総額	1,045,674 円
純資産総額（ - ）	1,228,790,018 円
発行済数量	2,244,314,847 口
1 単位当たり純資産額（ / ）	0.5475 円

（ご参考：親投資信託の現況）

TMA日本株TOPIXマザーファンド

平成23年4月28日現在

種類	金額
資産総額	141,603,709,669 円
負債総額	3,494,176,663 円
純資産総額（ - ）	138,109,533,006 円
発行済数量	233,994,325,837 口
1 単位当たり純資産額（ / ）	0.5902 円

## 第4【内国投資信託受益証券事務の概要】

ファンドの受益権は、振替受益権となり、委託会社は、この信託の受益権を取り扱う振替機関が社振法の規定により主務大臣の指定を取り消された場合または当該指定が効力を失った場合であって、当該振替機関の振替業を承継する者が存在しない場合その他やむを得ない事情がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。

なお、受益者は、委託会社がやむを得ない事情等により受益証券を発行する場合を除き、無記名式受益証券から記名式受益証券への変更の請求、記名式受益証券から無記名式受益証券への変更の請求、受益証券の再発行の請求を行わないものとします。

1. 名義書換  
該当事項はありません。
2. 受益者に対する特典  
特典はありません。
3. 内国投資信託受益証券の譲渡制限の内容  
譲渡制限はありません。
4. 受益権の譲渡

受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿にかかる振替機関等に振替の申請をするものとします。

上記の申請のある場合には、上記の振替機関等は、当該譲渡にかかる譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、上記の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行われるよう通知するものとします。

上記の振替について、委託会社は、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿にかかる振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託会社が必要と認めるときまたはやむを得ない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

5. 受益権の譲渡の対抗要件  
受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託会社および受託会社に対抗する

ことができません。

6. 受益権の再分割  
委託会社は、受託会社と協議のうえ、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとします。
7. 償還金  
償還金は、償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（償還日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者としてします。）にお支払いします。
8. 質権口記載又は記録の受益権の取り扱いについて  
振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権にかかる収益分配金の支払い、一部解約の実行の請求の受付、一部解約金および償還金の支払い等については、約款の規定によるほか、民法その他の法令等にしたがって取り扱われます。

## 第三部【委託会社等の情報】

### 第1【委託会社等の概況】

#### 1【委託会社等の概況】

平成23年4月末日現在、資本金の額は20億円です。なお、会社の発行可能株式総数は160,000株であり、38,300株を発行済みです。平成19年3月26日に資本金を2億円から20億円の発行済株式総数を2,300株から38,300株に変更しています。

委託会社業務執行上重要な事項は、取締役会の決議をもって決定します。取締役の選任は株主総会において、議決権を行使することができる株主の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の過半数をもってこれを行い、累積投票によらないものとします。取締役の任期は、選任後1年内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結の時までとします。取締役会はその決議をもって、取締役中より代表取締役を選任します。

投資信託の投資運用の意思決定プロセスは以下の通りです。

運用本部で運用計画案、収益分配方針案等の運用の基本方針案を作成します。

運用の基本方針は、運用本部長を委員長とする投資政策委員会で投資環境見通し等をふまえて決定されます。

決定された運用の基本方針に基づき、具体的運用計画を策定し、運用を行います。

売買の執行はトレーディング部が行います。

運用部門とは独立した管理部門にて運用評価、ガイドライン遵守状況のチェックを行い、管理本部長を委員長とし運用管理室を事務局とする運用管理委員会に結果報告します。

運用管理委員会から投資政策委員会へ運用評価、ガイドライン遵守状況がフィードバックされ次の基本方針決定に生かされます。

#### 2【事業の内容及び営業の概況】

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託者は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行っています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務を行っています。

平成23年4月28日現在、委託会社が運用を行っている証券投資信託（親投資信託を除きます。）は次の通りです。

	本数	純資産総額（百万円）
追加型公社債投資信託	1	5,316
追加型株式投資信託	105	1,602,034
単位型公社債投資信託	0	0
単位型株式投資信託	5	24,804
合計	111	1,632,155



### 3【委託会社等の経理状況】

1. 当社の財務諸表は、第24期事業年度（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）については改正前の「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。）並びに同規則第2条により、改正前の「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）に基づいて作成しており、第25期事業年度（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）については、改正後の「財務諸表等規則」並びに同規則第2条により、改正後の「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）に基づいて作成しております。  
また、当社の中間財務諸表は、改正後の「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）並びに同規則第38条及び第57条により、改正後の「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）に基づいて作成しております。
2. 当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第24期事業年度（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）及び第25期事業年度（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）の財務諸表について、あらた監査法人により監査を受けております。  
また、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当中間会計期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）の中間財務諸表について、あらた監査法人による中間監査を受けております。

## (1)【貸借対照表】

(単位：千円)

	第24期 (平成21年3月31日現在)	第25期 (平成22年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金・預金	4,040,877	3,816,617
前払費用	136,973	116,503
未収委託者報酬	1,017,789	1,277,992
未収収益	1,366,508	1,448,824
繰延税金資産	160,288	142,683
その他の流動資産	83,118	56,857
<b>流動資産計</b>	<b>6,805,557</b>	<b>6,859,480</b>
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	* 1 118,857	* 1 387,887
建物	6,262	212,911
器具備品	112,594	174,975
無形固定資産	3,144	3,144
電話加入権	3,144	3,144
投資その他の資産	816,832	798,932
投資有価証券	30,879	37,623
関係会社株式	254,342	254,342
長期前払費用	6,823	21,422
敷金	383,034	383,034
繰延税金資産	138,839	102,510
その他の投資等	2,912	-
<b>固定資産計</b>	<b>938,833</b>	<b>1,189,963</b>
<b>資産合計</b>	<b>7,744,390</b>	<b>8,049,444</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
預り金	14,278	14,830
未払金	* 2 782,984	* 2 887,469
未払手数料	213,598	273,906
その他未払金	569,385	613,562
未払費用	26,194	40,132
未払消費税等	26,542	23,834
未払法人税等	123,000	12,000
前受収益	1,698	72,735
賞与引当金	216,979	200,839
その他の流動負債	-	27
<b>流動負債計</b>	<b>1,191,676</b>	<b>1,251,869</b>
<b>固定負債</b>		
退職給付引当金	72,883	97,793
役員退職慰労引当金	12,750	12,600
<b>固定負債計</b>	<b>85,633</b>	<b>110,393</b>
<b>負債合計</b>	<b>1,277,310</b>	<b>1,362,262</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	6,467,151	6,687,107
資本金	2,000,000	2,000,000
利益剰余金	4,467,151	4,687,107
利益準備金	242,352	287,619

その他利益剰余金	4,224,798	4,399,488
繰越利益剰余金	4,224,798	4,399,488
評価・換算差額等	71	73
その他有価証券評価差額金	71	73
純資産合計	6,467,079	6,687,181
負債・純資産合計	7,744,390	8,049,444

## (2)【損益計算書】

(単位：千円)

	第24期 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)	第25期 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
営業収益		
委託者報酬	3,843,253	3,893,368
運用受託報酬	5,137,524	4,964,770
投資助言報酬	7,135	11,716
その他営業収益	1,992	1,992
営業収益計	8,989,906	8,871,848
営業費用		
支払手数料	1,012,684	985,687
広告宣伝費	59,868	53,018
公告費	3,496	384
調査費	2,425,675	2,626,233
調査費	1,162,650	1,311,448
委託調査費	* 1 1,263,024	* 1 1,314,784
委託計算費	95,430	84,838
営業雑経費	134,531	143,042
通信費	29,141	34,620
印刷費	81,503	86,493
協会費	5,455	5,627
諸会費	11,380	9,393
図書費	7,051	6,907
営業費用計	3,731,686	3,893,205
一般管理費		
給料	1,998,831	2,185,320
役員報酬	82,045	76,063
給料・手当	* 1 1,372,910	* 1 1,602,621
賞与	543,875	506,634
交際費	16,088	10,141
寄付金	100	-
旅費交通費	125,019	97,384
租税公課	33,414	35,525
不動産賃借料	255,339	444,310
役員退職慰労引当金繰入	4,250	5,450
退職給付費用	70,699	81,930
賞与引当金繰入	216,979	200,839
固定資産減価償却費	86,566	132,228
法定福利費	251,833	312,864
福利厚生費	5,692	11,193
諸経費	331,355	330,203
一般管理費計	3,396,170	3,847,393
営業利益	1,862,050	1,131,249

営業外収益				
受取配当金	* 1	114,937	* 1	107,992
受取利息		0		314
雑益		2,236		640
営業外収益計		117,173		108,947
営業外費用				
雑損		3,668		12,059
営業外費用計		3,668		12,059
経常利益		1,975,555		1,228,137
特別利益				
貸倒引当金戻入益		1,311		-
投資有価証券売却益		60		-
特別利益計		1,371		-
特別損失				
器具備品除却損		190		4,994
臨時償却費	* 2	125,463		-
投資有価証券売却損		4,037		36
預託金貸倒損失		-		2,912
本社移転損失		-	* 3	89,060
特別損失計		129,691		97,004
税引前当期純利益		1,847,235		1,131,132
法人税、住民税及び事業税		809,153		404,672
法人税等調整額		67,832		53,835
法人税等合計		741,320		458,507
当期純利益		1,105,914		672,624

**(3) 【株主資本等変動計算書】**

(単位：千円)

	第24期 (自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月 31日)	第25期 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月 31日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	2,000,000	2,000,000
当期変動額		
当期変動額合計		
当期末残高	2,000,000	2,000,000
利益剰余金		
利益準備金		
前期末残高	202,000	242,352
当期変動額		
剰余金の配当	40,352	45,266
当期変動額合計	40,352	45,266
当期末残高	242,352	287,619
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		
前期末残高	3,562,764	4,224,798
当期変動額		
剰余金の配当	443,881	497,934
当期純利益	1,105,914	672,624
当期変動額合計	662,033	174,690

当期末残高	4,224,798	4,399,488
利益剰余金合計		
前期末残高	3,764,764	4,467,151
当期変動額		
剰余金の配当	403,528	452,667
当期純利益	1,105,914	672,624
当期変動額合計	702,386	219,956
当期末残高	4,467,151	4,687,107
株主資本合計		
前期末残高	5,764,764	6,467,151
当期変動額		
剰余金の配当	403,528	452,667
当期純利益	1,105,914	672,624
当期変動額合計	702,386	219,956
当期末残高	6,467,151	6,687,107
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	4	71
当期変動額		
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	76	144
当期変動額合計	76	144
当期末残高	71	73
評価・換算差額等合計		
前期末残高	4	71
当期変動額		
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	76	144
当期変動額合計	76	144
当期末残高	71	73
純資産合計		
前期末残高	5,764,769	6,467,079
当期変動額		
剰余金の配当	403,528	452,667
当期純利益	1,105,914	672,624
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	76	144
当期変動額合計	702,310	220,101
当期末残高	6,467,079	6,687,181

## 重要な会計方針

第24期 自平成20年4月1日 至平成21年3月31日	第25期 自平成21年4月1日 至平成22年3月31日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法 (1) 子会社株式及び関連会社株式 移動平均法による原価法 (2) その他有価証券 時価のあるもの 決算日の市場価格等に基づく時価法 (評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)	1. 有価証券の評価基準及び評価方法 (1) 子会社株式及び関連会社株式 同左 (2) その他有価証券 時価のあるもの 同左

<p>時価のないもの</p> <p>移動平均法による原価法</p> <p>2. 固定資産の減価償却の方法</p> <p>(1) 有形固定資産</p> <p>定率法</p> <p>ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）については定額法、少額固定資産（取得価格が10万円以上20万円未満の資産）については3年間で均等償却する方法を採用しております。</p> <p>(2) 長期前払費用</p> <p>定額法</p> <p>3. 引当金の計上基準</p> <p>(1) 貸倒引当金</p> <p>債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。</p> <p>(2) 賞与引当金</p> <p>従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額の当期負担額を計上しております。</p> <p>(3) 退職給付引当金</p> <p>従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき計上しております。</p> <p>(4) 役員退職慰労引当金</p> <p>役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。</p> <p>4. 消費税等の会計処理方法</p> <p>消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。</p>	<p>時価のないもの</p> <p>同左</p> <p>2. 固定資産の減価償却の方法</p> <p>(1) 有形固定資産</p> <p>同左</p> <p>(2) 長期前払費用</p> <p>同左</p> <p>3. 引当金の計上基準</p> <p>(1) 貸倒引当金</p> <p>(2) 賞与引当金</p> <p>同左</p> <p>(3) 退職給付引当金</p> <p>同左</p> <p>(4) 役員退職慰労引当金</p> <p>同左</p> <p>4. 消費税等の会計処理方法</p> <p>同左</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 会計方針の変更

第24期 自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日	第25期 自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日
<p>（リース取引に関する会計基準等）</p> <p>当事業年度より平成19年3月30日改正の「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準委員会 企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 企業会計基準適用指針第16号）を適用しております。</p> <p>この変更に伴う損益に与える影響はありません。</p>	

## 表示方法の変更

第24期 自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日	第25期 自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日
<p>（損益計算書）</p> <p>前事業年度において「投資顧問料」として表示していたものは、当事業年度より投資一任契約については「運用受託報酬」、投資顧問契約については「投資助言報酬」と表示しております。</p>	

## 注記事項

## （貸借対照表関係）

第24期 平成21年3月31日現在	第25期 平成22年3月31日現在
* 1. 有形固定資産の減価償却累計額は次の通りであります。	* 1. 有形固定資産の減価償却累計額は次の通りであります。
建物 348,681千円	建物 34,930千円
器具備品 245,286千円	器具備品 306,760千円
* 2. 関係会社に対する主な資産・負債	* 2. 関係会社に対する主な資産・負債
区分掲記した以外で各科目に含まれている関係会社に対するものは次の通りであります。	区分掲記した以外で各科目に含まれている関係会社に対するものは次の通りであります。
未払金 461,031千円	未払金 516,261千円
（うち支配株主に対するもの 81,605千円）	（うち支配株主に対するもの 98,838千円）
（うち子会社に対するもの 77,038千円）	（うち子会社に対するもの 76,482千円）
（うち関連会社に対するもの 302,387千円）	（うち関連会社に対するもの 340,940千円）

## （損益計算書関係）

第24期 自平成20年4月1日 至平成21年3月31日	第25期 自平成21年4月1日 至平成22年3月31日
* 1. 関係会社との主な取引高は次の通りであります。	* 1. 関係会社との主な取引高は次の通りであります。
給与・手当 422,098千円	給与・手当 399,212千円
委託調査費 1,237,338千円	委託調査費 1,396,747千円
受取配当金 114,937千円	受取配当金 107,992千円
* 2. 臨時償却費は、本社の移転時に除却予定の既存設備・造作等について臨時償却したものであります。	* 3. 本社移転損失の内容は、次のとおりであります。
	原状回復工事 68,361千円
	移転運搬費用 13,132千円
	その他 7,567千円
	計 89,060千円

## （株主資本等変動計算書関係）

第24期（自平成20年4月1日至平成21年3月31日）

## 1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	平成20年3月31日 現在	増加	減少	平成21年3月31日 現在
普通株式（株）	38,300	-	-	38,300

## 2. 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

平成20年6月30日の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

株式の種類 普通株式

配当金の総額 403,528千円

1株当たり配当額 10,536円

基準日 平成20年3月31日

効力発生日 平成20年7月1日

## (2) 基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの

平成21年6月30日の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

株式の種類 普通株式

配当金の総額 452,667千円

配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	11,819円
基準日	平成21年3月31日
効力発生日	平成21年7月1日

第25期（自平成21年4月1日至平成22年3月31日）

## 1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	平成21年3月31日 現在	増加	減少	平成22年3月31日 現在
普通株式（株）	38,300	-	-	38,300

## 2. 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

平成21年6月30日の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

株式の種類	普通株式
配当金の総額	452,667千円
1株当たり配当額	11,819円
基準日	平成21年3月31日
効力発生日	平成21年7月1日

## (2) 基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの

平成22年6月29日の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

株式の種類	普通株式
配当金の総額	468,102千円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	12,222円
基準日	平成22年3月31日
効力発生日	平成22年6月30日

## (金融商品関係)

第25期（自平成21年4月1日至平成22年3月31日）

## (追加情報)

当事業年度より、「金融商品に関する会計基準」（改正企業会計基準第10号 平成20年3月10日）及び「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第19号 平成20年3月10日）を適用しております。

## 1. 金融商品の状況に関する事項

## (1) 金融商品に対する取組方針

当社の資本は本来の事業目的のために使用することを基本とし、資産の運用に際しては、資産運用リスクを極力最小限に留めることを基本方針としております。

## (2) 金融商品の内容及びそのリスク

営業債権である未収収益は顧客の信用リスクに晒されており、未収委託者報酬は市場リスクに晒されております。投資有価証券は、主にファンドの自己設定に関連する投資信託であり、基準価額の変動リスクに晒されております。

営業債務である未払金は、ほとんど1年以内の支払期日であり、流動性リスクに晒されております。

## (3) 金融商品に係るリスク管理体制

## 信用リスク

未収収益については、管理部門において取引先ごとに期日及び残高を把握することで、回収懸念の早期把握や軽減を図っております。

## 市場リスク

未収委託者報酬には、運用資産の悪化から回収できず当社が損失を被るリスクが存在しますが、過去の回収実績からリスクは僅少であると判断しております。

投資有価証券については、管理部門において定期的到时価を把握する体制としております。

## 流動性リスク

当社は、日々資金残高管理を行っており流動性リスクを管理しております。

## 2. 金融商品の時価等に関する事項

平成22年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは次表には含めておりません（（注2）参照）。

（単位：千円）

	貸借対照表計上額(*)	時価(*)	差額
--	-------------	-------	----



(1)現金・預金	3,816,617	3,816,617	
(2)未収委託者報酬	1,277,992	1,277,992	
(3)未収収益	1,448,824	1,448,824	
(4)投資有価証券 その他有価証券	7,623	7,623	
(5)敷金	383,034	243,580	139,453
(6)未払金	(887,469)	(887,469)	

(\*)負債に計上されているものについては、( )で示しております。

(注1) 金融商品の時価の算定方法ならびに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

資産

(1) 現金・預金、(2) 未収委託者報酬ならびに(3) 未収収益及び(6) 未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(4) 投資有価証券

時価の算定方法につきましては「重要な会計方針」の「1. 有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。

(5) 敷金

当社では、敷金の時価の算定は、その将来キャッシュ・フローを国債の利回り等適切な指標に当該建物の残存耐用年数を加味した利率で割り引いた現在価値より算定しております。

(注2) 非上場株式(貸借対照表計上額30,000千円)は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(4)投資有価証券 その他有価証券」には含めていません。

子会社株式(貸借対照表計上額221,595千円)及び関連会社株式(貸借対照表計上額32,747千円)は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、上表には含めておりません。

(注3) 金銭債権及び満期がある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：千円)

	1年以内	1年超5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金・預金	3,816,617			
未収委託者報酬	1,277,992			
未収収益	1,448,824			
合計	6,543,434			

(有価証券関係)

第24期 平成21年3月31日現在	第25期 平成22年3月31日現在
----------------------	----------------------

## 1. その他有価証券で時価のあるもの

区分	取得原価 (千円)	貸借対照表 計上額 (千円)	差額 (千円)
貸借対照 表計上額が 取得原価を 超えるもの			
証券投資 信託	-	-	-
小計	-	-	-
貸借対照 表計上額が 取得原価を 超えないもの			
証券投資 信託	1,000	879	120
小計	1,000	879	120
合計	1,000	879	120

## 2. 時価評価されていない有価証券

区分	貸借対照表 計上額
(1) 子会社株式及び関連会社 株式	
子会社株式	221,595千円
関連会社株式	32,747千円
合計	254,342千円
(2) その他有価証券	
非上場株式	30,000千円

## 3. 当事業年度中に売却したその他有価証券

区分	第24期
	自平成20年4月1日 至平成21年3月31日
売却額	24,523千円
売却益の合計額	60千円
売却損の合計額	4,037千円

## 1. 子会社株式及び関連会社株式

子会社株式及び関連会社株式(貸借対照表計上額 子会社株式221,595千円、関連会社株式32,747千円)は、市場価格がなく時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。

## 2. その他有価証券

区分	貸借対照表 計上額 (千円)	取得原価 (千円)	差額 (千円)
貸借対照 表計上額が 取得原価を 超えるもの			
証券投資 信託	7,623	7,500	123
小計	7,623	7,500	123
貸借対照 表計上額が 取得原価を 超えないもの			
証券投資 信託	-	-	-
小計	-	-	-
合計	7,623	7,500	123

(注)非上場株式(貸借対照表計上額30,000千円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

## 3. 当事業年度中に売却したその他有価証券

区分	第25期
	自平成21年4月1日 至平成22年3月31日
売却額	963千円
売却益の合計額	-千円
売却損の合計額	36千円

(退職給付関係)

第24期 自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日	第25期 自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日
1. 採用している退職給付制度の概要 退職金制度及び確定拠出年金制度を採用しております。	1. 採用している退職給付制度の概要 同左
2. 退職給付債務に関する事項 退職給付債務 72,883千円 退職給付引当金 72,883千円	2. 退職給付債務に関する事項 退職給付債務 97,793千円 退職給付引当金 97,793千円
3. 退職給付費用に関する事項 勤務費用 48,489千円 確定拠出年金への掛金支払額 22,209千円 退職給付費用 70,699千円	3. 退職給付費用に関する事項 勤務費用 56,126千円 確定拠出年金への掛金支払額 25,803千円 退職給付費用 81,930千円
4. 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項 退職給付債務の計算は簡便法を採用しており、確定拠出年金部分を除く退職給付費用は「勤務費用」に計上しております。	4. 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項 同左

## (税効果会計関係)

## 1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	第24期 (平成21年 3月31日現在)	第25期 (平成22年 3月31日現在)
繰延税金資産		
役員退職慰労引当金	5,187千円	5,126千円
退職給付引当金損金算入限度超過額	29,656千円	39,792千円
未払金(出向者)	11,983千円	12,925千円
未払金(寄附金)	-	228千円
賞与引当金損金算入限度超過額	88,288千円	81,721千円
未払法定福利費否認	8,174千円	8,406千円
未払事業所税否認	2,740千円	3,709千円
未払事業税否認	12,606千円	3,664千円
未払委託調査費	31,346千円	31,120千円
負担金見積計上分	4,332千円	-
ソフトウェア償却超過額	52,539千円	57,048千円
貸倒損失	-	592千円
臨時償却費	51,051千円	-
未払確定拠出年金	816千円	907千円
電話加入権	355千円	-
その他有価証券評価差額金	48千円	-
繰延税金資産小計	299,128千円	245,244千円
評価性引当額	-	-
繰延税金資産合計	299,128千円	245,244千円
繰延税金負債		
その他有価証券評価差額金	-	50千円
繰延税金負債合計	-	50千円
繰延税金資産の純額	299,128千円	245,194千円

## 2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

第24期 (平成21年3月31日現在)	第25期 (平成22年3月31日現在)
法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の百分の五以下であるため注記を省略しております。	同左

## (関連当事者情報)

第24期(自平成20年4月1日至平成21年3月31日)

## (追加情報)

当事業年度より、「関連当事者の開示に関する会計基準」(企業会計基準第11号平成18年10月17日)及び「関連当事者の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第13号平成18年10月17日)を適用しております。

なお、これによる開示対象範囲の変更はありません。

## 1. 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社の親会社及び主要株主(会社等の場合に限る。)等

重要な取引はありません。

(2) 財務諸表提出会社の子会社及び関連会社等

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金 又は 出資金	事業の 内容 又は 職業	議決権の 所有 割合	関連当 事者との 関係	取引の 内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
関連 会社	TOKIO MARINE ROGGE ASSET MANAGEMENT LIMITED	英国・London	300千	金融商 品取引 業	(所有) 直接50%	運用の 再委任  役員の 兼任	委託 調査費	946,947	未払金	302,387

\*取引条件は、一般的な取引条件と同等であります。

\*取引金額及び期末残高には、免税取引のため消費税等は含まれておりません。

(3) 財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社等及び財務諸表提出会社のその他の関係会社の子会社等

重要な取引はありません。

(4) 財務諸表提出会社の役員及び主要株主(個人の場合に限る。)等

重要な取引はありません。

## 2. 親会社又は重要な関連会社に関する情報

(1) 親会社情報

東京海上ホールディングス株式会社(東京証券取引所及び大阪証券取引所に上場)

東京海上日動火災保険株式会社(非上場)

(2) 重要な関連会社の要約財務情報

重要な関連会社はありません。

第25期(自平成21年4月1日至平成22年3月31日)

## 1. 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社の親会社及び主要株主(会社等の場合に限る。)等

重要な取引はありません。

(2) 財務諸表提出会社の子会社及び関連会社等

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金 又は 出資金	事業の 内容 又は 職業	議決権の 所有 割合	関連当 事者との 関係	取引の 内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
関連 会社	TOKIO MARINE ROGGE ASSET MANAGEMENT LIMITED	英国・London	300千	金融商 品取引 業	(所有) 直接50%	運用の 再委任  役員の 兼任	委託 調査費	1,024,297	未払金	340,940

(注) \*取引条件は、一般的な取引条件と同等であります。

\*取引金額及び期末残高には、免税取引のため消費税等は含まれておりません。

- (3) 財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社等及び財務諸表提出会社のその他の関係会社の子会社等  
重要な取引はありません。
- (4) 財務諸表提出会社の役員及び主要株主(個人の場合に限る。)等  
重要な取引はありません。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する情報

(1) 親会社情報

東京海上ホールディングス株式会社(東京証券取引所及び大阪証券取引所に上場)  
東京海上日動火災保険株式会社(非上場)

(2) 重要な関連会社の要約財務情報

重要な関連会社はありません。

(1株当たり情報)

	第24期 自平成20年4月1日 至平成21年3月31日	第25期 自平成21年4月1日 至平成22年3月31日
1株当たり純資産額	168,853円25銭	174,600円03銭
1株当たり当期純利益金額	28,875円06銭	17,562円00銭
	(注)1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載していません。 (注)2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は以下のとおりであります。	(注)1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載していません。 (注)2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は以下のとおりであります。
	当期純利益 1,105,914千円	当期純利益 672,624千円
	普通株主に 帰属しない金額 -	普通株主に 帰属しない金額 -
	普通株式に係る 当期純利益 1,105,914千円	普通株式に係る 当期純利益 672,624千円
	期中平均株式数 38,300株	期中平均株式数 38,300株

## 中間財務諸表

## (イ) 中間貸借対照表

(単位：千円)

当中間会計期間末 (平成22年9月30日)		
資産の部		
流動資産		
現金・預金		3,944,744
前払費用		148,261
未収委託者報酬		1,340,663
未収収益		2,116,246
繰延税金資産		192,878
その他の流動資産		37,533
流動資産計		7,780,328
固定資産		
有形固定資産	* 1	337,451
建物		196,616
器具備品		140,835
無形固定資産		3,144
電話加入権		3,144
投資その他の資産		810,975
投資有価証券		40,234
関係会社株式		254,342
長期前払費用		21,750
敷金		372,155
繰延税金資産		122,493
固定資産計		1,151,572
資産合計		8,931,900
負債の部		
流動負債		
預り金		19,874
未払金		1,271,995
未払手数料		308,860
その他未払金		963,135
未払費用		47,977
未払消費税等	* 2	71,712
未払法人税等		413,200
前受収益		78,856
賞与引当金		307,185
その他の流動負債		3,869
流動負債計		2,214,671
固定負債		
退職給付引当金		91,874
役員退職慰労引当金		15,390
固定負債計		107,264
負債合計		2,321,936
純資産の部		
株主資本		6,610,133
資本金		2,000,000
利益剰余金		4,610,133
利益準備金		334,429

その他利益剰余金	4,275,703
繰越利益剰余金	4,275,703
<hr/>	
評価・換算差額等	169
<sub>    </sub> 其他有価証券評価差額金	169
<hr/>	
純資産合計	6,609,964
<hr/>	
負債・純資産合計	8,931,900
<hr/>	

## (口) 中間損益計算書

(単位：千円)

当中間会計期間 (自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 9月30日)	
営業収益	
委託者報酬	2,144,066
運用受託報酬	2,781,737
投資助言報酬	6,345
その他営業収益	736
営業収益計	4,932,886
営業費用	
支払手数料	583,044
広告宣伝費	9,813
調査費	1,651,707
調査費	729,478
委託調査費	922,228
委託計算費	38,945
営業雑経費	70,814
通信費	18,073
印刷費	35,149
協会費	3,244
諸会費	8,741
図書費	5,604
営業費用計	2,354,324
一般管理費	
給料	930,160
役員報酬	39,217
給料・手当	804,950
賞与	85,993
交際費	8,576
旅費交通費	50,750
租税公課	22,994
不動産賃借料	191,640
役員退職慰労引当金繰入	2,790
退職給付費用	35,509
賞与引当金繰入	307,185
固定資産減価償却費	* 1 50,578
法定福利費	165,003
福利厚生費	9,501
諸経費	148,874
一般管理費計	1,923,565
営業利益	654,995
営業外収益	
受取配当金	39,798
受取利息	589
雑益	18,363
営業外収益計	58,751
営業外費用	
雑損	8,121
営業外費用計	8,121
経常利益	705,624



特別損失	
器具備品除却損	495
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7,443
特別損失計	7,938
税引前中間純利益	697,686
法人税、住民税及び事業税	401,280
法人税等還付税額	24,710
法人税等調整額	70,012
法人税等合計	306,558
中間純利益	391,128

## (八) 中間株主資本等変動計算書

(単位：千円)

当中間会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	
株主資本	
資本金	
前期末残高	2,000,000
当中間期変動額	-
当中間期変動額合計	-
当中間期末残高	2,000,000
利益剰余金	
利益準備金	
前期末残高	287,619
当中間期変動額	
剰余金の配当	46,810
当中間期変動額合計	46,810
当中間期末残高	334,429
その他利益剰余金	
繰越利益剰余金	
前期末残高	4,399,488
当中間期変動額	
剰余金の配当	514,912
中間純利益	391,128
当中間期変動額合計	123,784
当中間期末残高	4,275,703
利益剰余金合計	
前期末残高	4,687,107
当中間期変動額	
剰余金の配当	468,102
中間純利益	391,128
当中間期変動額合計	76,974
当中間期末残高	4,610,133
株主資本合計	
前期末残高	6,687,107
当中間期変動額	
剰余金の配当	468,102
中間純利益	391,128
当中間期変動額合計	76,974
当中間期末残高	6,610,133
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	
前期末残高	73
当中間期変動額	
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	242
当中間期変動額合計	242
当中間期末残高	169
評価・換算差額等合計	
前期末残高	73
当中間期変動額	

株主資本以外の項目の 当中間期変動額（純額）	242
当中間期変動額合計	242
当中間期末残高	169
純資産合計	
前期末残高	6,687,181
当中間期変動額	
剰余金の配当	468,102
中間純利益	391,128
株主資本以外の項目の 当中間期変動額（純額）	242
当中間期変動額合計	77,217
当中間期末残高	6,609,964

## (二) 中間財務諸表作成の基本となる重要な事項

	当中間会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
1. 資産の評価基準及び 評価方法	<p>有価証券</p> <p>(1) 子会社株式及び関連会社株式 移動平均法による原価法</p> <p>(2) その他有価証券</p> <p>時価のあるもの</p> <p>中間会計期間末日の市場 価格等に基づく時価法 (評価差額は全部純資産 直入法により処理し、売却 原価は、移動平均法により 算定)</p> <p>時価のないもの</p> <p>移動平均法による原価法</p>
2. 固定資産の減価償却 の方法	<p>(1) 有形固定資産</p> <p>定率法</p> <p>ただし、平成10年4月1日以 降に取得した建物（建物附属 設備を除く）については定額 法、少額固定資産（取得価格 が10万円以上20万円未満の資 産）については、3年間で均 等償却する方法を採用してお ります。</p> <p>(2) 長期前払費用</p> <p>定額法</p>
3. 引当金の計上基準	<p>(1) 賞与引当金</p> <p>従業員賞与の支給に充てる ため、支給見込額の当中間会 計期間負担額を計上してお ります。</p> <p>(2) 退職給付引当金</p> <p>従業員の退職給付に備える ため、当期末における退職給 付債務の見込額に基づき、当 中間会計期間末において発 生していると認められる額 を計上しております。</p> <p>(3) 役員退職慰労引当金</p> <p>役員の退職慰労金の支出に 備えるため、内規に基づく中 間期末要支給額を計上して おります。</p>
4. 消費税等の会計処理 方法	消費税及び地方消費税の会計処 理は税抜方式によっております。

## (ホ) 中間財務諸表作成の基本となる重要な事項の変更

当中間会計期間 自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日
(資産除去債務に関する会計基準の適用) 当中間会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。 これにより、営業利益、経常利益はそれぞれ3,435千円、税引前中間純利益は10,878千円減少しております。

## 注記事項

## (中間貸借対照表関係)

	当中間会計期間末 (平成22年9月30日現在)	
1 有形固定資産の減価償却累計額	建物	51,225千円
	器具備品	323,814千円
2 消費税等の取扱い	仮払消費税等及び仮受消費税等は相殺のうえ、未払消費税等として表示しております。	

## (中間損益計算書関係)

	当中間会計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	
1 減価償却実施額	有形固定資産	50,578千円

## (中間株主資本等変動計算書関係)

当中間会計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)				
1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項				
株式の種類	前事業年度末 (株)	当中間会計期間 増加 (株)	当中間会計期間 減少 (株)	当中間会計期間末 (株)
普通株式	38,300	-	-	38,300
2. 配当に関する事項				
(1) 配当金支払額				
平成22年6月29日定時株主総会において、次のとおり決議しております。				
・普通株式の配当に関する事項				
(イ) 配当金総額・・・・・・・・・・ 468,102千円				
(ロ) 配当の原資・・・・・・・・・・ 利益剰余金				
(ハ) 1株当たり配当額・・・・・・・・・・ 12,222円				
(ニ) 基準日・・・・・・・・・・ 平成22年3月31日				
(ホ) 効力発生日・・・・・・・・・・ 平成22年6月30日				

## (金融商品関係)

当中間会計期間末(平成22年9月30日)

金融商品の時価等に関する事項

平成22年9月30日における中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは次表には含まれておりません(注2参照)。

(単位：千円)

	中間貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金・預金	3,944,744	3,944,744	
(2)未収委託者報酬	1,340,663	1,340,663	
(3)未収収益	2,116,246	2,116,246	
(4)投資有価証券 其他有価証券	10,234	10,234	
(5)敷金	372,155	247,825	124,330
(6)未払金	(1,271,995)	(1,271,995)	

(\* )負債で計上されているものについては、( )で示しております。

(注1) 金融商品の時価の算定方法及びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

#### 資産

(1) 現金・預金、(2) 未収委託者報酬ならびに(3) 未収収益

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(4) 投資有価証券

時価の算定方法につきましては「(二) 中間財務諸表作成の基本となる重要な事項」の「1. 資産の評価基準及び評価方法」に記載しております。

(5) 敷金

当社では、敷金の時価の算定は、その将来キャッシュ・フローを国債の利回り等適切な指標に当該建物の残存耐用年数を加味した利率で割り引いた現在価値より算定しております。

#### 負債

(6) 未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(注2) 非上場株式(中間貸借対照表計上額30,000千円)は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(4)投資有価証券 其他有価証券」には含めていません。

子会社株式(中間貸借対照表計上額221,595千円)及び関連会社株式(中間貸借対照表計上額32,747千円)は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、上表には含めておりません。

(注3) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

(有価証券関係)

1. 子会社株式及び関連会社株式

子会社株式及び関連会社株式(中間貸借対照表計上額 子会社株式221,595千円、関連会社株式32,747千円)は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。

2. 其他有価証券

	種類	中間貸借対照表 計上額(千円)	取得原価 (千円)	差額(千円)
中間貸借対照表計 上額が取得原価を 超えるもの	その他 証券投資信託	2,133	2,100	33
中間貸借対照表計 上額が取得原価を 超えないもの	その他 証券投資信託	8,100	8,420	319
合計		10,234	10,520	285

(注) 非上場株式(中間貸借対照表計上額30,000千円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

当社は「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社であり証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者として運用(投資運用業)を行っております。また「金融商品取引法」に定める投資助言・代理業を行っております。

当社は、投資運用業及び投資助言・代理業にこれらの附帯業務を集約した単一セグメントを報告セグメントとしております。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

[関連情報]

1. 製品及びサービスごとの情報

単一のサービス区分の外部顧客への営業収益が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

本邦の外部顧客への営業収益が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が中間貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

当社は、単一の外部顧客への営業収益が中間損益計算書の営業収益の10%以上に該当する顧客がおりますが、秘密保持義務を負っているため記載をしておりません。

(追加情報)

当中間会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(1株当たり情報)

	当中間会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
1株当たり純資産額	172,583円92銭
1株当たり中間純利益金額	10,212円23銭

潜在株式調整後 1 株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。
--------------------------------------------------

(注) 1 株当たり中間純利益金額の算定上の基礎は以下のとおりであります。

中間純利益	391,128千円
普通株主に帰属しない金額	-
普通株式にかかる中間純利益	391,128千円
期中平均株式数	38,300株



#### 4【利害関係人との取引制限】

委託者は、「金融商品取引法」の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

自己又はその取締役若しくは執行役との間における取引を行うことを内容とした運用を行うこと(投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。)

運用財産相互間において取引を行うことを内容とした運用を行うこと(投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。)

通常の取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託者の親法人等(委託者の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下において同じ。)又は子法人等(委託者が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。)と有価証券の売買その他の取引又は金融デリバティブ取引を行うこと。

委託者の親法人等又は子法人等の利益を図るため、その行う投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額若しくは市場の状況に照らして不必要な取引を行うことを内容とした運用を行うこと。

上記に掲げるもののほか、委託者の親法人等又は子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為。

#### 5【その他】

##### (1) 定款の変更

委託会社の定款の変更に関しては、株主総会の決議が必要です。

##### (2) 訴訟事件その他の重要事項

提出日現在、訴訟事件その他委託会社およびファンドに重要な影響を及ぼした事実、及び重要な影響を与えることが予想される事実はありません。

## 第2【その他の関係法人の概況】

### 1【名称、資本金の額及び事業の内容】

#### (1) 受託会社

- ・名称 三菱UFJ信託銀行株式会社  
(再信託受託会社：日本マスタートラスト信託銀行株式会社)
- ・資本金の額 324,279百万円(平成22年9月末日現在)
- ・事業の内容 銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律(兼営法)に基づき信託業務を営んでいます。

#### <参考情報：再信託受託会社の概要>

- ・名称 日本マスタートラスト信託銀行株式会社
- ・資本金の額 10,000百万円(平成22年9月末日現在)
- ・事業の内容 銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

#### (2) 販売会社

名称	資本金の額( )	事業の内容
東京海上日動火災保険株式会社	101,994百万円	保険業法に基づき損害保険業を営んでいます。
S M B C 日興証券株式会社	10,000百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
楽天証券株式会社	7,495百万円	
株式会社S B I証券	47,937百万円	

( ) 平成22年9月末日現在。ただし、S M B C 日興証券株式会社は平成23年4月1日現在。

### 2【関係業務の概要】

受託会社は、信託財産の保管・管理等を行います。また、当ファンドにかかる信託事務の一部につき日本マスタートラスト信託銀行株式会社に委託することがあります。

販売会社は、募集・販売の取扱い、一部解約事務および収益分配金・解約金・償還金の支払い等を行います。

### 3【資本関係】

東京海上日動火災保険株式会社は、委託会社の株式の100%を直接保有しており、親会社となっております。

### 第3【その他】

- 1．目論見書の表紙にロゴ・マーク、図案を使用し、委託会社の名称、ファンドの基本的性格等を記載することがあります。
- 2．目論見書の表紙に委託会社の金融商品取引業者登録番号および目論見書の使用を開始する日を記載する場合があります。
- 3．請求目論見書に当ファンドの約款を添付します。
- 4．目論見書の別称として「投資信託説明書（目論見書）」、「投資信託説明書（交付目論見書）」または「投資信託説明書（請求目論見書）」という名称を使用することがあります。
- 5．目論見書は電子媒体として使用されたり、インターネット等に掲載されることがあります。

## 独立監査人の監査報告書

平成23年5月11日

東京海上アセットマネジメント投信株式会社  
取締役会 御中

### あらた監査法人

指定社員 業務執行社員 公認会計士 鶴田 光夫

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている東京海上日本株TOPIXファンドの平成22年3月24日から平成23年3月22日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、東京海上日本株TOPIXファンドの平成23年3月22日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

東京海上アセットマネジメント投信株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

---

(注) 1. 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. 財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

[委託会社の監査報告書\(当期\)へ](#)

## 独立監査人の監査報告書

平成22年6月29日

東京海上アセットマネジメント投信株式会社  
取締役会 御中

### あらた監査法人

指定社員 公認会計士 鶴田 光夫  
業務執行社員指定社員 公認会計士 奈良 昌彦  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている東京海上アセットマネジメント投信株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの第25期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、東京海上アセットマネジメント投信株式会社の平成22年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

(注) 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

[委託会社の監査報告書\(中間\)へ](#)

独立監査人の中間監査報告書

平成22年12月27日

東京海上アセットマネジメント投信株式会社  
取締役会 御中**あらた監査法人**指定社員 公認会計士 鶴田 光夫  
業務執行社員指定社員 公認会計士 奈良 昌彦  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている東京海上アセットマネジメント投信株式会社の平成22年4月1日から平成23年3月31日までの第26期事業年度の中間会計期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書及び中間株主資本等変動計算書について中間監査を行った。この中間財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国における中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。中間監査は分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じた追加の監査手続を適用して行われている。当監査法人は、中間監査の結果として中間財務諸表に対する意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、東京海上アセットマネジメント投信株式会社の平成22年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注）上記は、中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

## 独立監査人の監査報告書

平成22年5月12日

東京海上アセットマネジメント投信株式会社  
取締役会 御中

### あらた監査法人

指定社員 業務執行社員 公認会計士 鶴田 光夫

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている東京海上日本株TOPIXファンドの平成21年3月24日から平成22年3月23日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、東京海上日本株TOPIXファンドの平成22年3月23日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

東京海上アセットマネジメント投信株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

---

(注) 1. 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. 財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

[委託会社の監査報告書\(前期\)へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成21年6月30日

東京海上アセットマネジメント投信株式会社  
取締役会 御中

## あらた監査法人

指定社員 公認会計士 鶴田 光夫  
業務執行社員指定社員 公認会計士 奈良 昌彦  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている東京海上アセットマネジメント投信株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの第24期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、東京海上アセットマネジメント投信株式会社の平成21年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

(注) 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。